

マネ協

題字 杉村 路子

◆ 発行 ◆

Vol.7

日本芸能マネージメント事業者協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿

1-29-5 グランドメゾン新宿東210

TEL. 03 (3225) 5984

FAX. 03 (3225) 5949

発行日 平成12年5月20日

発行人 梅田 淑二郎

編集人 松田 咲賀

印刷所 株式会社東甲メゾン

MANAGEMENT REPORT

新 理 事 長 に 聞 く

4月28日 文学座にて話を聞いてきました。
◆インタビュアー 佐藤 達郎



理事長2期目の抱負を語る梅田理事長

梅田 まずマネ協の社会的認知度、知名度を上げていかないといいなと思います。もつとアピールしていかないと。確かに今、マネ協の必要性を感じていない人達も少なくない。しかし、将来的に組織としての決まりごとを作っていく必要はならないと思っております。もう一度、会員でない事業者をリストアップし、勧誘する事も考えていきたい。そして、マネ協をアピールする点で言えば、イベントとか考えるのも良いかなと。これだけの会社が集まって、俳優がいるのだからね。2年間の内に大きなイベントをひとつやりたいと思っております。

◆マネ協の財政状況が厳しい中、財政面でもそのような収益事業を考えないとと言われておりますね。

梅田 財政は本当に厳しい。みんなで頑張らなといけません。現在会議でやっておりますが、これを上げれば良いかというところは賛成できない。マネ協には、色々な会社が入っており、人様々です。現在の金額が高いと思われている人達もいる中で、簡単に上げられない。全ての会社が、同じ型、同じ立場で参加している訳ですから。上げるには、全ての会社が同意しなくては行けない。それは、マネ協の組織としての価値が上がっていく事で同意が得られると思っております。全員が参加する事に意義を感じます。そういう形を作らなといけません。

◆マネ協へ参加する事で考えると、会員事業者数に比べるとスタッフ会員の数が少ないですが、これについては？

梅田 スタッフ会員が少ないのは寂しいです。各事務所にマネージャーはいない訳だから。事務局にあなた来た事ありますか？

◆あります。でも、来た事ない人も多いと思う。理事達は「こんには」と言いながら行ってるけど。だから、何か一つでもいいから、スタッフ会員にも役に立つ事務所じゃなければと思っております。オーナーの人達だけのマネ協ではないのですから。

◆そうですね。その上で、今回加藤事務局長が退任なされて、伊藤さんが引き継ぐ事にな

った事務局ですが、事務局強化も命題になっていますが、梅田 加藤さんが辞める事は非常に残念です。以前からの調子が悪い事も含めて相談されていきましたので、この辺が引き時かな。ただ、加藤さんには助けてもらわないといけません。伊藤君もまだ2年目です。そして、伊藤君には1日も早く、加藤さんみたいに事務局の顔になってもらいたいと思います。私は以前から、事務局は2、3人体制じゃないと無理と思っております。

◆そうですね。伊藤さんが会議などに事務局の人間として出席している時、事務局に誰もいないというのはまずいですね。梅田 そうです。予算的には大変ですけど、アルバイトでも、何でも、伊藤君の下に、デスクなどを置かないといけません。事務局には会議などには必ず出席してもらい、把握してもらいたいのです。でも伊藤君一人では限界があります。また、理事の人達には、みなさん忙しいとは思いますが、もつと事務局と密接になっていってほしいと思っております。理事の当番制で、事務局に集まるとか、色々考えなければと思っております。

◆有難うございました。最後になりましたが、何かございましたら。梅田 総会でも挨拶しましたが、理事達と一緒に皆で協力しながら、頑張っていきたいと思っております。

(平成12年4月28日、編集部松田さんと共に文学座へお邪魔して話を伺ってきました。初めて訪れた文学座は、とても雰囲気があり、歴史を感じました。)



梅田理事長とインタビューする佐藤編集部員

◆再度理事長に推挙された訳ですが、今後2年間の抱負をお聞かせ下さい。梅田 一期目、2年間を経験しまして、その時、やり残した事、出来なかつた事等、いくつかわるので、ここでもう一度あらためてやっつけていきたいと思っております。基本的にはみんなが協力的になり、やっつけていく事が大事。理事も新たに4人の方が選ばれましたので、みんな盛上げてやっつけていきたいです。

◆具体的には何かありますか。梅田 まずランク問題や新しいBSデジタルの件など、かたづけいてない問題を集中的に、それと、法人化ですね。これは難しいが、実現を日指していかないといいなと思います。その為にも会員事業者数を増やして、多くの参加、協力を得られる体制を整えたいのです。そして、芸団協との話の中で、傘下に入るとい話もある。色々問題もあるが、マネ協として150社は必要かなと思っております。実現すれば大きな力になるでしょう。

◆会員事業者数を増やすには、どうしていくべきとお考えですか。

マネージャーが行く No.7

喜怒哀楽

江崎加子男さん

取材=脇坂直子 カット/豊田紀雄



PERSONAL

江崎 加子男(えざき かねお)
昭和十一年七月十五日生まれ。

血液型はA型。
趣味は釣り・ゴルフ。酒と煙草の代わり、洒落を嗜む(笑)

好きな食べ物は桃、スイカ。
若さの秘訣は何でも楽しんで興味を持つこと。

「おじさん」と制作会社の方々に親しみを込めて呼ばれ、キャスティングの相談を受け30年。知識と情報を併せ持つ数少ない本当のMgr.の一人と評される(有)江崎プロダクション代表取締役社長の江崎氏にアテレコ創成期の頃のお話しを伺いました。

30年位前かなあ、局のプロデューサーに呼び出されて、吹替え済のフィルムにお叱りを頂いた。何度見ても、どこが悪いのか分からない。プロデューサーが呆れて「西部劇だからベランメエ調でつて言っただけ3マイルは無いでしょう。3マイル!」今なら抜き録りが出来るけれど当時は映写機の時代。映画館のような暗いスタジオで、台本の上だけにライトが当たる。だから役者さんもマネージャーも皆、目を悪くしてしまつた。効果音も総てスタッフが作る。波の音は小豆の音で、扉の開閉はスタジオに戸を入れてつてね。吹替えも一度失敗したら、フィルムを巻き戻して、また初めから収録のやり直し。最後の方に新人さんのセリフがある時なんか、もうマネージャーもヒヤヒヤ、ドキドキ。何とかの法則じゃ無いけれど、人間って、そういう時に限って失敗しちゃうんだよね(笑)

スタジオ内のそんな緊張や、待ち時間を緩和する為に言っていた洒落が、何時の間にか僕の売りになつてしまいましたね。僕が上京したのは18の時。アクタープロ、劇団「河」でマネージメントをし、雨森雅司・北村弘一・武藤礼子さん達とフリー集団の事務所を立ち上げたのが、江崎プロの始まり。今年で31年になります。洋画の吹替えが始まつた頃から声の仕事に専門にやつてきました。視聴者の方に楽しんで貰える良い作品に仕上げる為なら、うちの所属の役者さんでなくとも、制作会社の方に紹介しましたよ。だから芝居も映画もたくさん見た。若いマネージャーさん達は「役者を売る前に自分を売れ」って先輩に、良く言われているけど、自分の売り方が分かつてない。自分を売って言うのは信用や信頼をして貰えるかって言う事だと思えます。当時の僕は、朝の10時には必ずどこかのスタジオに顔を出してましたよ。アテレコの創成期の頃はコンビニなんて便利なものもなく、でも夜の10時位になると制作会社の方から電話が掛かってくるのよ「お腹がすいた」って。居酒屋に頼んで暖かいオニギリをつくって貰いスタジオに届ける。交通手段が車だったのも幸いしたのです。30年間のこの繰り返しですが皆さんに信用して貰えたことだと思えますね。制作会社や局の方に信用して貰えなければ、役者さんを守つてあげる事も育てることも出来ないじゃない。自分を売るための第一歩は腰を軽くすることです。梅雨どきだし、携帯傘は必ず持ち歩くこと。急な雨でも、もう一社、顔を出そうって気になりますよ。

第2回マネ協

研修懇親旅行

マネ協第10回定時総会でお知らせしましたように、今秋、第2回マネ協研修懇親旅行を催したいと思えます。

第一回マネ協研修懇親旅行は、NHKドラマ部チーフプロデューサーの川合淳志氏(大河ドラマ「葵・徳川三代」)を講師にお迎えして、1998年11月15・16日、紅葉の箱根路、箱根湯本で行いました。川合さんのお話しは、入社時の鹿児島時代から現在のドラマ部に至る経緯から始まり、ドラマの制作状況から21世紀デジタル時代に向けての展開へと話しがすすみ、また日頃感じているマネージャー観のお話しもあり、とても実ある会でした。

矢張り、一泊旅行は、研修と懇親という楽しいものになります。さて、今秋の第2回目は、未だ具体的な内容は、決まっていませんが、講師に誰をお迎えしたらいいか、要望があれば、マネ協事務局にお話しください。内容が決まり次第、お知らせします。

俳協 亀井



(報告)

～選挙管理委員会より、経過と結果報告～

<選挙管理委員長、福井 弘 (劇団昴)>

平成12年4月6日 (木) 午前11時30分よりマネ協事務局において、日本芸能マネージメント事業者協会、理事・監事改選の選挙開票が、選挙管理委員長、福井弘 (劇団昴)、選挙管理委員、山田美由紀 (エムカンパニー)、脇坂直子 (オフィスCIHK)、立会人として、マネ協事務局より、加藤進平、伊藤信の以上5名により行われ、集計結果は下記の通りです。

- 投票者数 69名 (被選挙者数104名ですので、投票率は66.3%となります。)
- 理事票数 773票
- 監事票数 124票
- 無効票数 (理事) 1票
- 無効票数 (監事) 1票

当選者 [理事12名、監事2名]

■理事	梅田濠二郎 (文学座)	打田 輝子 (さち子プロ)
	豊田 紀雄 (現代制作舎)	岩淵佐津夫 (岩淵ぐるうぶ)
	守屋 俊郎 (青年座映画放送)	久保 進 (青二プロダクション)
	亀井 俊夫 (東京俳優生活協同組合)	田寺 尚和 (テアトル・エコー)
	山崎 譲 (円企画)	江崎加子男 (江崎プロダクション)
	松田 咲實 (アーツビジョン)	小野 伸一 (仕事)
■監事	田村 錦人 (文化座)	中里 長吉 (中里事務所)

◆この結果を第10回定時総会に報告し、承認を頂きました。

以上、今回の日本芸能マネージメント事業者協会、理事・監事選挙結果をお知らせ致します。

*今回66.3%と今までにない高投票率となったわけですが、被選挙者数104名という数字と、今後のマネ協維持という観点から考えても、皆さんに今まで以上の関心を持って頂き、無効票のない100%の投票率を目指していければと思いました。なにせ、初めての経験で選挙管理委員の山田さん、脇坂さん、そしてマネ協事務局の加藤さん、伊藤さんには色々とお無理をお願いしました。この場で、お礼申し上げます

『外画動画部会 活動報告』

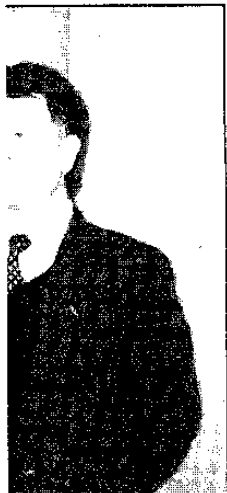
実務小委 委員長 町田 泉

新ランクが実施されて早や5カ月が経とうとしていきます。各制作会社の台本のキャストイング表を見る度に、懐かしいベテラン達の名前、久しぶりに見る中堅達の名前、初めて見る新人の名前、そして相変わらず、いつでも、必ずと言っていい程見慣れた人達の名前が見受けられます。この事は、ランクを見直した事によって状況が好転した人、今迄とあまり変化がない人、又、ランクを据え置いても状況が変わらない人、据え置いた為に変化があった人と、色々な意味での影響がある事を表わしているのではないかと推察します。このランク見直しの制度は、もう1年実施される事になっておりますので、現状をよく分析し、次回のランク申請の参考にされたら如何かと思ふ次第です。

さて、毎月1回、三団体の実務小委員会で色々な問題を討議しておりますので今年になって前回5月11日迄の会議で決定した事項や、検討事項についてご報告申し上げます。まずCS放送の規定についてですが、日俳連会員(ランク保持者)の規定については変更はありません。新人登録者の出演規定の内、長尺に関する規定は今迄ありませんでしたが、90分以上の作品については、12、000円となりまして、更にその作品が、ビデオや地上波等に転用された場合の転用料は、差額分として、3、000円となり一括先払いの場合、15、000円となりまして、この場合、会員各位、どうかご承知ください。

「G外並み」で様子を見て、1年以内に話し合いの結果、改定することで決定しました。これを表にすると、(S+時間割増)×20%となります。但、放送回数や、再放送期間の問題等、まだ確定していない部分もありますので、決定次第、会報等で改めてお知らせします。

次に、ゲームランクの件です。昨年スタートしたGS規定については、移植料50%の確約を最大メリットとして、延べ3年間、検討に検討を重ね、正に産みの苦しみの中からスタートした訳ですが、CESA側から音声連各社への制作依頼がほとんど無く、又、スポンサー側からの「指名」の基準や、今年4月改定の新ランク表配布が遅れた為のトラブル等もあり、GS規定そのもののメリットが3者間でそれ程多くないのが現状と思われれます。そこで廃止の方向で話し合いをしておりますが、音声連がCESA側に打診をする事で、年内中に結論を出す方向で、様子を見る事となりましたので、それ迄は規定通りの出演となります。



センター)の
まる氏(左)

第10回 マネ協定時総会

フォトレポート

去る4月20日午後3時より、NHK青山荘において日本芸能マネージメント事業者協会の第10回定時総会が開催されました議長団選出のあと、理事長挨拶、事業報告、各委員会報告、決算報告、予算案承認もとどこうり無く進行し、「役員改選並びに承認の件」も満場一致で承認されました。総会終了後、午後6時より同じ会場で「懇親パーティー」が行われました。日俳連、NHK著作権部、芸団協CPRA(クプラ)からもお客様がお見えになりご祝辞を頂戴いたしました。

最後に、加藤事務局長の退任のご挨拶があり、盛大な拍手が送られました。

(写真・レポート 脇坂、松田)



マネ協の発展を願って乾杯!



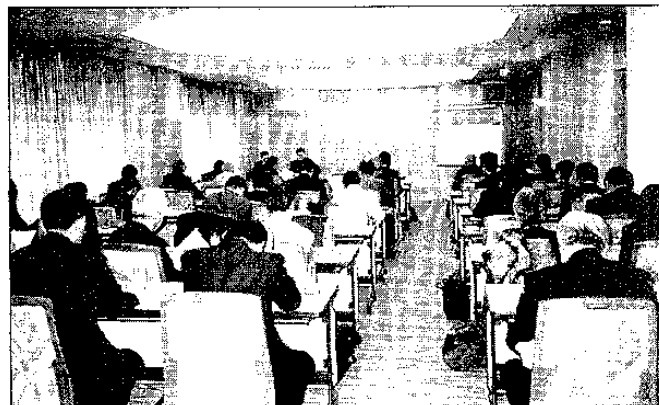
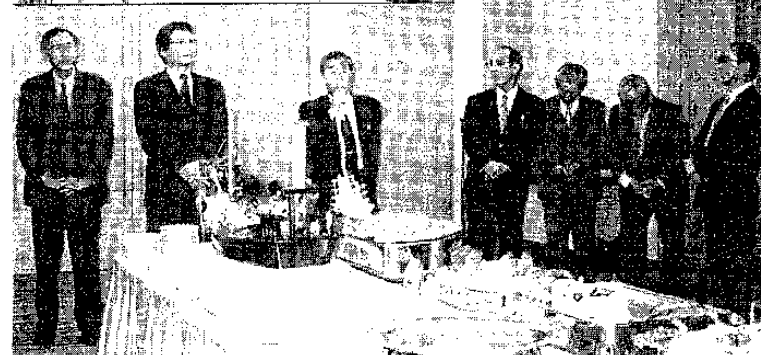
再任された
梅田理事長の挨拶



議長団に選出された町田泉氏(ハオバフ) 小野伸一氏(仕事)



新理事に任命された各氏



議長報告を受ける会員代表の各氏



第10回総会を以って勇退をされる
加藤事務局長

NHK放送事業局著作権契約部
石井亮平副部長



ご来賓のCPRA (クブラ/実演家著作
映像業務部長 平井和夫氏と同部の



豪勢な「マネ協船盛り」を豪快に平らげるのは…？！



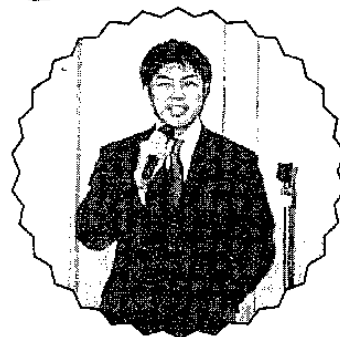
フレッシュマン



現代制作舎・豊田千絵



9プロダクション・松村健



テアトル エコー・関留寛

先輩の皆様よろしくお願ひします。



現代制作舎・所香織



文学座・本田太郎



イメージ・光明寺敬子



ウチの名物マネージャー

『趣味と実益を兼ねる男・藤崎淳』

藤崎 淳 (ふじさき じゅん) 東京都出身
33才・愛妻一人・愛児一人・血液型：O型 動物占い：狼

我が俳協、若手マネージャーの中でも人望は厚くフットワークの良さでも定評があり、写真を御覧いただいても分かる通り甘いマスクの二枚目で、オーディションの際には俳優さんから「立会いは結構、俺が目立たなくなる…」と拒否される人物である。俳協では主に「ナレーター・DJ」を担当し取引先も、局・代理店・制作会社とその幅は社内でも一二を争う広さと多忙を極める人物で入社10年目にして早くもトップセールスマンとなった人である。

と、ここまでは本人を持ち上げ、これからは奈落の底に突き落とす訳だが…この藤崎マネージャー「趣味と実益」を裏にうまく使いこなしているのである。『野球狂』まさに藤崎マネージャーにぴったりの言葉なのである。

我が社、俳協には「TACCS (タックス)」と言う野球チームがあり、かれこれ10年の歴史を持つが、彼はこのチームの生涯キャプテンなのである。35名を越える個性豊かな部員(言葉数が多く、騒がしいとも言う)をまとめ上げ、東京芸能人野球連盟主催による春・秋の大会を初め渋谷区軟式野球連盟大会また、他社との練習試合と年間40試合以上をこなしているのである。特異なのは『地獄のキャンプ』(酒・マージャン・勿論練習もするが二日酔いの二泊三日)も欠かさない律儀さと、練習熱心からチームでもユニホームの消耗度が一番激しいと言われている。更には実兄・真人氏とともに『BROOKS』という、野球チームも結成し江戸川区を中心に活動している。また、各社取引会社のチームにも助手として参加し、彼自身年間70~80試合を消化しているのである。こうなると、ダブルヘッターの日があるにしても1週に1~2試合消化していることになり、当然休みはなくなる。しかし、助手として参加となれば、もうこれは仕事…? ここまで書けば『野球』が彼の営業活動に大きなウエイトを占めているのは、同業の皆さんならばすでにご理解いただけるであろう。ただこの「生涯キャプテン」に大きな障害が一つある。『四番でサード』でなければ気が済まないの

である。しかも、エースもやりたい、今日の試合にメンバーの都合でキャッチャーがいなければ名乗り出してしまうのである。単純な話、目立っておいしい所をやりたいのである。野球狂には当り前のことだろうが、私(筆者)に取っては理解し難い所もある…。ただ可愛そうなのは最近のジャイアンツの成績である。毎年『優勝を祝う会』を計画してるにもかかわらず、最近はお預け状態で今年こそ実現させてあげたいものである。

彼にはもう一つの言葉がはまる『競馬狂』勿論、生活に支障を起こすような事はしないが、入社前からの趣味である。「隠れてするな、堂々とやれ」と実父にいわれ、現在では夫人公認の趣味でもある。彼の取引会社のなかに、中央競馬PRセンターと言う会社がある。競馬中継を行っている。これも野球同様ご理解いただけるだろう。足取りも軽く現場に向かう…。取引先との関係は好調のようだが、本人予想は不調のようだ。

そして、最近の趣味は『格闘技』である。おなじみK1や懐かし(失礼)のキックボクシングにハマリ始めている。リングサイドで観戦しているらしく、同僚からはうらやむ声が出ているが本人曰く…「あくまで仕事」と言い切る。上司としては、研究熱心で何事にも興味を持ち行動(観戦)する彼を責めることは勿論出来ないのだが…私も誘え!

我社の藤崎をご紹介させて頂きましたが、実直で素直な好青年であります、何かと御一緒する機会もあろうかと思えます。その節は何卒よろしくお願ひします。又、この文章が本誌の品位を下げる結果となりました事をおわび申し上げます。

俳協(東京俳優生活協同組合) 理事長 田代利之



『自己紹介・豊田千絵』

豊田 千絵 (とよだ ちえ) 東京都出身・血液型：O型
(有)現代制作舎

この四月に現代制作舎に入社した豊田千絵です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます

私は、アマチュア劇団出身の母と役者を志していた父の間の3人兄妹の長女として生まれました。小さい頃から音楽が大好きで、将来は音楽に関する仕事につきたいな、と思っていました。そして中学生のときに私のその後の人生に大きな影響を与える2人の人物と衝撃的な出会いをしました。1人は当時の吹奏楽部顧問であった先生です。彼からは吹奏楽を通じて音楽の楽しさを教わり、私は将来は絶対に音楽の先生になるんだ、と心に決めました。先生には本当に感謝しています。そして、もう1人は、つかこうへいさんです。彼のエッセイに出会い、本当に目からウロコが落ちる思いになり、それから戯曲など彼の書く著書は全て読みました。そして彼の芝居を初めて見た時、心が興奮し、体がうずく自分でした。しかしながら先程とは違い、自分が役者として芝居をやりたいとは思いませんでした。なぜなら、社長である父の姿を小さい頃から見ていたからです。芸能界のことについて父と直接話をしたことはありませんでしたが、その後姿を見れば、いやでも芸能界の厳しさは伝わってきました。また、芝居の世界は現実の世界に生きる自分とは違うことが分かっているからこそ面白いのだ、と思っていたのです。しかし、心のなかにその後もずっと引っかかっていた。

その後、音楽大学を経て何とか夢をかなえ、足立区内の音学科教員として7年間を過ごしました。最近、10代の事件

が問題となっていますが、それらを現実として肌で感じながらも、何も出来ない自分との葛藤が続きました。そのかわら、心の温かい生徒たちに囲まれ、本当に充実した日々を過ごしてきました。

しかし、数年前から心の中に引っかかっていた芝居の世界への興味がどんどん大きくなっていったのです。そして20代最後の春、私はもう一度新しい世界で自分を試してみたいと決意し、この世界に足を踏み入れたのでした。

この仕事についてからまだ日は浅いのですがその間に沢山のひととお会いしました。今、改めてこの世界の厳しさを実感しています。けれども、どんなに辛くとも、あの中学生のときに味わった興奮を忘れずにいれば乗り切れるのではないかと、教員時代の辛い経験を乗り越えてきた自分ならもっと頑張れるのではないかと、と思っています。

教員を辞めた今でも教え子から手紙が届きます。生徒の手紙を読むと涙が出てきますが教員時代に経験したこと~人と関わることの面白さや辛さなど~を生かし、これから精一杯頑張っていきたいと思えます。まだまだ未熟者ですが、どうぞご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願ひ致します。…最後になりましたが、ミーハー豊田、いつかは、つかこうへいさんに会いたい、と願っておりますので…



加藤事務局長ありがとうがとうございました。

加藤進平さん

長い間、本当にお疲れさまでした。

私達は加藤さんいろいろな教えて頂きました。加藤さんは真面目な方で、又、これだと思おうと一直線に進む人のようでした。酒を愛し、芝居を愛し、愛書家の進平さん。よく一緒に酒を飲むと大きな声で芝居のことや、外面動画部会の話しをしましたね。話し出すと止まらなくなつて、大きな声で昔芝居をやつてた時を思い出さかのようにでした。

この間のTV朝日のニュースステーションで、大橋巨泉がしばらくぶりです話していましたが、日本人は余裕がないという話から、人生リタイヤしてからの遊びが出来ない。

カナダやニュージーランドの中流の人で第二の人生を大変エンジョイしている、第二の人生でゴルフをしたり釣をしたり、のんびり別荘に行ったりして、本当に楽しんでると話しをしていました。

我々もこうゆう人生を送りたいものです。加藤さんは働きすぎです。日本人は第二の人生を送るときは、歳をとって遊ぶことも出来なくなる！これでは、一生懸命働いても、なにもならないと思います。

加藤さん早くお体を直して、第二の人生を楽しんでください。マネ協の苦しい経済状況は分かっています、何かお考えがお有りでしょうか？このまま、ハイさようならではちよつと寂しい気がする、送別会とか歓送会をマネ協として企画してはいかがでしょう？働きづめだった加藤さん、又、酒でも一緒に飲みましょう。

(株) 同人舎プロダクション

小林 茂 実



加藤さんが事務局を去るに当たって、自身マネージャー業にどこで終止符をうつか、そんなことを考える。営業をして回る先で邪魔扱いされていけないか。若返つたスタッフとの会話に無理はないか、マネージする俳優との間に違和感がないか等々だが、ない訳がない年齢だからである。

加藤進平さんとの思いでは1960〜70年代だ。ダンディでした、ハンチングスタイルで、パイプが良く似合う風体で「俳優の権利」「ユニオン」といった耳慣れない話しを熱っぽく語ってくれたことです。

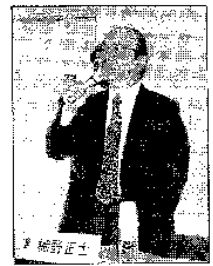
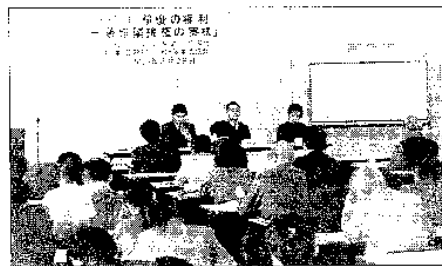
加藤さんは大学を出て劇団民芸に、その後、劇団峰の会、泉座と俳優を志しロマンローランの作品に熱く傾倒した時代とも聞いている。テレビ放送が始まる(昭和28年)や、そちちの劇団内核分裂が起き、新しい時代の対応に追われた時代だ。五年後カラー放送が始まり翌年皇太子ご成婚の年に至つては放送界空前の盛儀で、その後加藤さん達の身辺もめまぐるしく変わっていったようだ。

劇団泉座を最後にマネージメントプロ「プレイヤーズセンター」で「てえぶら」「太平洋テレビ芸能部」等々の設立。「俳優」の創立に参加(昭和35年)「日生映画部」の立ち上げ、(詳細は省略)等、マネージャーとして変身する。この間組合運動、俳優ユニオンの夢、外面動画を含む権利問題、今私達が日頃重視している問題加藤さん達の多岐に渡り歩まれた実体験が基だと確信している。マネ協会員の一人として誇れる事務局長、に心からお礼申し上げます。体調をととのえ更に後進の指導を、個人的にはゴルフをやつて旨いビールを飲んで片を付けたと思つている。

(有) 岩淵ぐるうぶ

岩淵 佐津 夫

セミナー 『俳優の権利— 著作隣接権の実状』 報告



去る2月28日池袋の東京芸術劇場に於て、マネ協と(社)日本劇団協議会との共催による『俳優の権利—著作隣接権の実状』についてのセミナーが開催されました。このセミナーは、近年のデジタル・ネットワーク化による著作物利用形態の変化や、それによって発生する様々な権利を守るため、マネージャーの知識向上を計つていこうと開催されたものです。

講師として、芸団協(社団法人・芸能実演家団体協議会)専務理事でCPRA(実演家著作隣接権センター)運営委員長でもある棚野正士氏、CPRAセンター長の山下睦氏、CPRA映像業務部長の平井和夫氏、CPRA映像業務部の今井かほる氏の方々にご出席をお願い致しました。芸団協の行っている業務から、日本における著作隣接権の実状。また、主としてこれまで音楽業界が恩恵を受けてきた私的録音録画保証金制度(個人が音楽や映像等のソフトを録る場合の著作権料をあらかじめハードの代金に乗せして、メーカーから権利者に配分するもの)が映像業界でも配分の方角に向かつていて、その総額はやがて億単位になるであろうというお話もありました。そういった明るい話題から権利獲得が進んでいない面まで様々なお話を伺い、38社71名の参加者も有意義にセミナーを終えることが出来ました。またセミナー終了後には、会場の東京芸術劇場にあるレストランで親睦会も開かれ、出席者の人達は「勉強」後のアルコールを楽しんでいました。(事務局・伊藤)



JAPAN MANAGERS ASSOCIATION

MOVEMENT REPORT

<2000年2月>

- 10日 外画動画新人登録者名簿を提出
- 15日 常務会・第105回定例理事会(マネ協にて)
- 25日 外画動画実務小委員会(マネ協にて)
- 28日 セミナー「俳優の権利—著作権隣接権の実状」&懇親会(東京芸術劇場にて)

<2000年3月>

- 3日 NHKランク申請をNHKへ提出
 - // 三団体[マネ協・日俳連・音声連]実務小委員会(音声連にて)
 - // 常務会(マネ協にて)
- 6日 CX・三団体[マネ協・劇団協・日俳連]会議(CXにて)
- 14日 常務会・第106回定例理事会(マネ協にて)

<2000年4月>

- 6日 役員選挙・開票作業(マネ協にて)
 - // 三団体実務小委員会(音声連にて)
 - // 二団体[マネ協・日俳連]実務小委員会(日俳連にて)
- 7日 NHK出演条件改定交渉(NHKにて)
- 10日 決算報告・監査(マネ協にて)
- 11日 常務会(マネ協にて)
- 20日 第107回定例理事会(NHK青山荘にて)
 - // 第10回定時総会&懇親会(NHK青山荘にて)
 - // 新理事による臨時理事会(NHK青山荘にて)
- 27日 外画動画部会会議(俳協にて)

一 計 報 一

(株)エービー企画の代表者、阿部征男氏が、5月23日、脳出血のため死去されました。享年55歳。謹んでご冥福をお祈りいたします。

事務局当番理事ローテーション

- 5月・6月 (A班=松田、亀井、打田、岩淵)
- 7月・8月 (B班=山崎、江崎、小野、福井)
- 9月・10月 (C班=豊田、守屋、田寺、町田)
- 11月・12月 (A班)/1月・2月(B班)/3月・4月(C班)

編集スタッフ連名

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 豊田 紀雄 | 岩淵佐津夫 | 小路 哲 |
| 脇坂 直子 | 佐藤 達郎 | 内海賢太郎 |
| 松田 咲實 | 加藤 進平 | 伊藤 信 |

マネ協新加入事業者の紹介

声の劇団 イマージュ

■東京都中野区中野 2-11-2
 サン中野マンション502
 TEL 03-3380-4039
 FAX 03-3380-4041



代表者
大西 桂太



会員代表
光明寺 敬子

(有) キリンプロ

●マネージャー募集中
 ■東京都渋谷区代々木1-43-2
 メトロビル3F
 TEL 03-5333-1222
 FAX 03-5333-1223



代表者
御手洗 良昭

会員代表
御手洗 佳子

★退会事業者

- ・(株)セブンアーツ
- ・(株)グループ71
- ・ダテ企画
- ・(有)ワット企画

編 集 後 記

新理事会がスタートします。改正された新規約に基づいて推薦理事3名が加わり15名の新理事会が誕生します。5月16日の理事会において、3名の推薦理事が決定しますので、残念ながら、発行日の都合上ご紹介できませんでした。次号の各理事坦務のなかでご紹介致します。マネ協の発展のため、加盟事業者の発展のため、更にはマネージメントに携わるスタッフの社会的地位向上のため、新理事会が全力で取り組む事を期待したいと思います。

そして、長らく理事としてご尽力下さいました高賢治さん、中根敏晴さん本当にご苦労様でした。又、加藤事務局長も体調優れない中、事務局充実のために力を注いで下さいました。本当にありがとうございました。マネージャーと言う職業に就く人たちが、もっと胸を張れるよう更なる努力をマネ協は続けたいと思います。

編集部 松田咲實

問題提起

日俳連NEWS、2000年4月21日号(No.86)の30ページに大変興味のある特集記事が掲載されています。第4回「俳優の著作権を勉強する会」のテーマとして…俳優とマネージャーの契約は?…と言うことで俳優の皆さんが熱心に議論したというレポートが掲載されているのです。「日俳連として何が出来るのか?」とサブタイトルのついたこの記事にはマネージャーとして考えなければならない指摘や問題提起が沢山あります。もちろん勉強会に参加している俳優さんがマネ協傘下の事務所に所属している方々かどうかは解らないのですが、マージンの問題や支払い遅れの問題、移籍後の二次使用料受取先の問題等さまざまなトラブルについて活発に議論されているようです。マネ協としても公式の見解を出したほうがよいと思われる部分も少なからずありますので理事会としても、前向きに取り組みたいです。マネージャーの皆さんのご意見を編集部までお寄せください。

マネ協

題字 杉村天来

◆ 発行 ◆

Vol.8

日本芸能マネージメント事業者協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿

1-29-5 グランドメゾン新宿東210

TEL. 03 (3225) 5984

FAX. 03 (3225) 5949

発行日 平成12年9月6日

発行人 梅田 濠二郎

編集人 松田 咲實

印刷所 (株)東洋パブリシティ

M A N A G E M E N T R E P O R T

『加藤元事務局長に聞く
～歴史から学ぶ～』

◇インタビュアー 豊田紀雄

■豊田 先日の放送会は非常に大勢のマネージャーが出席し、全員が心のこもった挨拶をされ、加藤さんの人望に改めて感じました。最後の加藤さんの挨拶の中でマネージャー歴を話されましたが、当日出席なされなかった人達には是非語って頂きたい、お願い致します。

■加藤 判りました。明治大学演劇コースを出て、民藝に俳優として入ったんです。しかし、民藝の教師がどうも気に入らなかつたんです。そのうち神津先生という舞芸の講師をしていた学友(後にテレビ朝日のプロデューサー)が、降の会という劇団を作ると言うのでそれに参加したんです。しかし、赤字続きで存続できなくなり二年半程で潰れました。泉座という劇団に俳優として入団しました。三年ばかりやってたんですが、親父が亡くなり、役者として続けていくには金が無い。当時はアルバイトなんてなかなか無い時代だから、はたと困ってしまった。そんな時、泉座の経営部長に呼ばれて、劇団七曜会と泉座でプレイヤーズ・センターというのを作る準備をしていて、これからは民放ラジオ局も開局、そのうちテレビ局も開局する時代が来るので制作の方をやらなにかと言うんで、役者を辞め制作関係の仕事に変わりました。やがて、このプレイヤーズ・センターが一大勢力になるんです。そうそう、「音楽関係の渡辺プロ、演劇関係のプレイヤーズ・センター」と言われました。中小劇団の役者をずいぶん集めました。俳優座や民藝、文学座など大劇団は、当時テレビを電気紙芝居だと言ってなかなか出なかつたんですよ。芸が荒れるからだめだ。そのうち、NHK放送劇団の人達も参加するようになります。

■豊田 ダイアール110番でプロデューサーの仕事をするようになったのは、その頃ですか？

■加藤 開局当時の局のプロデューサーは大学を出たのが多くて、演劇関係はそんな人に明るくなかつたんです。だから僕が演劇関係の人間だということもあり、担当の北川信プロデューサーから頼まれた訳です。それに、あの番組はドラマにリアリティを持たせる為、そんなに有名スターは必要無いんですよ。日本テレビ開局の頃、毎日のように通ってましたから、それで話があつたんだと思います。プロデューサーの北川信さんは本作りやロケーション等なだかんだと忙しかつたので、キヤスティングは殆ど私がやりました。

■豊田 それだけプロデューサー的な仕事をされ

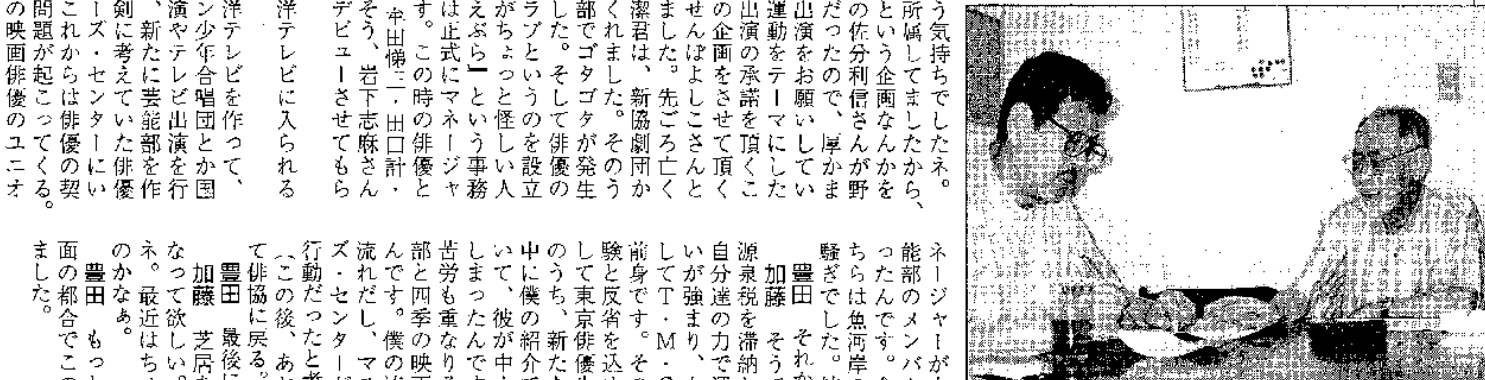
て、局に入ろうとは思わなかつたんですよ。

■加藤 局の仕事より、プレイヤーズ・センターの中で好きな仕事が色々出来るんです。局に入るよりずっと面白いと思ひました。

■豊田 当時のマネージャーというのは、社会的地位はどうだったんですか？

■加藤 新しい職業でした。泉座には望月優子さんなんか所属してましたから日本テレビで望月優子アワーという企画なんかを立てたりしました。また松竹の佐分利信さんが野方にお住まいで私の家も近くだつたので、厚かましくお宅に何回も伺ひテレビ出演をお願いしてたところ、大和劇場卒の学生運動をテーマにした作品「象牙の塔」でテレビ初出演の承諾を頂くこともでき、その縁で何本かの企画をさせて頂くことが出来ました。演出は、せんばよしこさんとか野末和夫さんがやってくれました。先ごろ亡くなつたプロデューサーの鈴木潔君は、新協劇団から僕の下について良くやってくれました。そのうちプレイヤーズ・センター内部でゴタゴタが発生して、それが元で辞めました。そして俳優の勝田久さんと東京タレントクラブというのを設立しました。しかし、オーナーがちょっと怪しい人間だつたので解散して、「てえぶら」という事務所を立ち上げて、鈴木潔君には正式にマネージャーとして入ってもらつたんです。この時の俳優としては、松村達雄・野々村潔・中田博二・出口計・若山弦蔵さん達がいまして。そう、若下志麻さんもNHKの「パス通り裏」でデビューさせてもらう事が出来ました。

■豊田 その後ですか、太平洋テレビに入られるの？



■豊田 最後に若いマネージャーに一言。

■加藤 芝居をもっと観て欲しい、何より好きになつて欲しい。そして、役者に惚れて欲しいです。最近はずっとサラリーマン化してしまつたのかな。

■豊田 もっともっと、お聞きしたいのですが紙面の都合でこの辺で。どうも、ありがとうございます。

■加藤 ええ、清水昭が太平洋テレビを作つて、外国映画のアテレコやウィーン少年合唱団とか国外芸術団体の招へい、舞台公演やテレビ出演を行なう事業をしていたんですが、新たに芸能部を作る為、俳優の権利問題等を真剣に考えていた俳優の久松保夫さんや、プレイヤーズ・センターにいたスタッフの宝輪峰雄君が「これからは俳優の契約問題や権利問題など大切な問題が起こってくる。社長の清水昭さんはアメリカの映画俳優のユニオンに非常に明るく理解のある人なので、これ等の問題と取り組む為には太平洋テレビを基盤に多くの俳優を取り込んでいく必要があるんです。それには加藤さんあなたが「必要だ」と久松保夫さんなんかに誘われまして、そこで所属メンバーにもそれを語り全員で太平洋テレビに入ったんです。鈴木君も勿論一緒なんです。私も、アメリカのユニオンの事などを少し勉強してましたから共感した訳です。それから、マネージャーが約20人、俳優が200人位集まりましたからね。しかし、やがて常にマネージャーの人権を無視するような横暴な社長のやり方、マネージャーが怒り出したんです。マネージャー

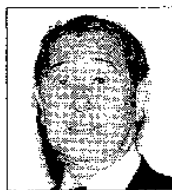
■加藤 そうです。裁判闘争で清水昭が出演料の源泉税を滞納している事も発覚して、これからは自分達の力で運営に当たる様に行きたいと思ひが強まり、太平洋テレビの労働組合員を中心としてT・M・Cを設立したんです。これが俳優の前身です。その後で、太平洋テレビで得た経験と反省を込めてマネージャーと俳優の共同体として東京俳優生活協同組合を設立したんです。そのうち、新たなスタッフも採用したんです。その中に僕の紹介で劇団四季から入つた経理担当者がいて、彼が中心になつた使ひ込み事件が起こつてしまつたんです。ホントに困りましたね、そんな苦勞も重なりその責任をとつて辞め、日生の映画部と四季の映画放送部に誘われて入ることにしたんです。僕の流れの中では、劇団四季も七曜会の流れだし、マスコミに関わる分野ではプレイヤーズ・センターが源なので、一貫した流れの中で行動だつたと思ひて居るんですがね。

（この後、おおいの輝彦や声田伸介を手掛けたりして俳優に戻る。）

理事会刷新!

今後2年間のマネ協を運営し舵取りをする新理事会がスタートしました。さまざまな難題を克服しながらマネ協を牽引していかなければなりません。今回からは選挙で選ばれた12名の理事によって3名の推薦理事を選び合計15名の理事会となります。梅田理事長を中心にマネ協を活性化する為に新理事会も頑張る決意です。理事坦務が決定致しましたので各部会の構成メンバーも含めてご紹介致します。会員の皆様にはそれぞれの部会に積極的に参加して建設的なご意見を戴きたいと思ひます。

<理事長>



梅田濠二郎
（株）文学座

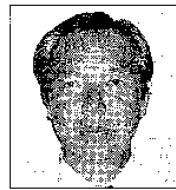
<副理事長>



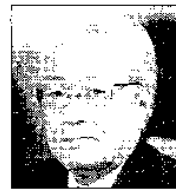
豊田紀雄
（株）現代制作舎



松田咲實
（株）アーツビジョン



山崎譲
（株）円企画



久保進
（株）青二プロダクション

<理事各氏>



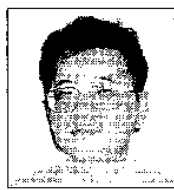
岩淵佐津夫
（有）岩淵ぐるうぷ



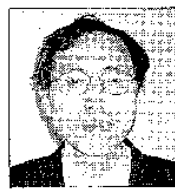
打田輝子
（株）さち子プロ



江崎加子男
（株）マウスプロ
モーション



小野伸一
（株）仕事

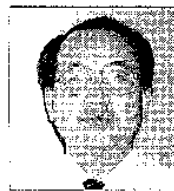


亀井俊夫
俳協



田寺尚和
（株）テアトル・
エコー

<推薦理事>



熊野勝弘
（有）ワンダー・
プロダクション

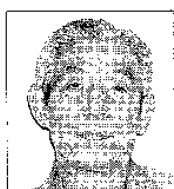


福井弘
劇団 昂

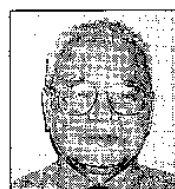
日本タレント名鑑に記載されているプロダクション・劇団の数は623社。現在も分裂、俳優の独立等が増えているかも知れない。この内マネ協に加盟している団体は106社である。マネ協の理事に推薦されて、まだ2回しか理事会に出席していないけれど、これらの未加盟の人達に加盟してもらえ魅力あるマネ協である為に、一理事として何を考えなければならぬか、まだ何も判らないけれど、せっかく理事に推薦していただいたのだから、何かの役には立ちたいと思う。

此の度、マネ協の推薦理事を仰せ付かりました劇団昂の福井です。とは云いまして、もとよりマネージャーとしてのキャリアも浅く、皆様との交流も限られた方々だけでしたので、お役に立てるのか不安に思うのですが、出来る限り努めてまいりたいと考えております。若輩者ですので、至らぬ点などありましたらどうぞ遠慮なさらず、気軽にお声を掛けて下さい。現場でお会いできる日を楽しみにしております。

<監事>



田村錦人
劇団 文化座



中里長吉
（有）中里事務所



守屋俊郎
青年座映画放送(株)



町田京
（株）ぶろだくしょん
バオバブ

此の度、理事会（特に江崎氏、松田氏）より強い要請があり、理事をお引き受けすることになりました。実務小委・委員長として毎年ランク改訂や、新メディア料率等の諸問題に取り組み参りましたが、これからも業界発展の為、マネ協の地位向上の為、微力ながら尽力していく所存です。会員各位のご理解とご協力を、今まで以上に何卒よろしくお願ひ申し上げます。

恵比寿・エコー劇場 STUDIO ECHO

演劇公演、コンサート、テレビ中継、コマーシャル撮影、発表会、リハーサル等多目的利用可（定員184名）

◆ ◆ ◆ お気軽にご相談下さい ◆ ◆ ◆

問合せ 株式会社 スタジオ・エコー 〒150-0011 東京都渋谷区東3-18-3エコービル
（テアトル・エコー系列会社） PHONE:03-5466-3322 FAX:03-5466-3314

理事会体制と委員会構成図

常務理事会

理事長	梅田 濠二郎	理事相談役	久保 進
副理事長	豊田 紀雄	事務局	伊藤 信
副理事長	松田 咲實		
副理事長	山崎 譲		

対外対策委員会

三団体・著作隣接権センター関係

☆山崎 梅田 豊田 岩淵 守屋 久保

日排連、劇団協と共に三団体として、例年通りNHK、民放四社に対してランクアップ等の話し合い交渉は続けていきたい。但し、交渉内容はやや、マンネリ化しているため要求のあり方を三団体で研究し、見直しをすべきだと思う。CXに関して9月～10月上旬に現状調査し、今後を話し合いたい。

今期中にぜひ行ないたい事は、12月よりBSデジタル放送開始の為、クプラに協力し、映像制作者に対して二次、三次使用の考え方を見直し、新ルールの作成をしたい。(山崎 譲)

映像・演劇 (NHK、民放、CF、映像、演劇)

☆打田 田寺 小野 熊野

会報の創刊号より度々委員会への参加を呼びかけてまいりましたが、自から手を上げて下さる方がなく、本当に残念です。厳しい状況下、日常の仕事に追われて大変だとは思いますが、今期は委員会自身に体力をつける事が一番と考え、理事で協議のうえ直接指名をさせていただきます。その時はぜひ御協力をお願いします。

こんな時代だからこそ、個々の力を結集して、難問に立ち向かっていきたいと思っております。(打田 輝子)

外画・動画・マルチメディア

☆江崎 松田 町田

実務小委員会の委員長は理事であるべきだと言う指摘などもありまして、長期に渡り委員長を務めてきた町田さんを推薦理事とする提案が理事会で承認を得られました。今回からはマルチメディア委員会も統合されることになり委員会のメンバーも決定しました。解決すべき問題は山積していますが三理事ともども頑張ります!(江崎加子男)

対内対策委員会

未収処理

☆守屋 亀井
打田 福井
(三部門合わせて)

ルール

福利厚生

「今期2年の方針」
未収入処理：現在のところ理事会に報告無し。報告あり次第、即対応。
厚生：マネ協援助による健診は今後も年一度で継続。
ルール：本年度から3名の推薦理事制度を導入。今までの全理事を選挙によった制度に比して、その有用性を理事会及び協会活動を通じて確認。(守屋俊郎)

企画・広報室

教宣

☆松田 豊田 岩淵

事業

会報

当面はこの会報発行を維持出来るように頑張りたいと思います。編集部員も皆忙しい為、編集会議も開催できずFAXでやり取りしている状況を何とか脱却したいと思っています。特に会員事業者のみなさんの積極的な寄稿をお待ちいたします。会報を通じてマネージメントを職業とする私たちの主張を続けられればと思います。また岩淵理事、豊田理事とも相談しながらマネ協の財政を助けられるような収益事業となるイベントを開催致したいと思っております。会員事業者の皆さんからの提案を待っています。(松田咲實)

☆印は理事会の部門別責任者です。

外画・動画・マルチメディア「実務小委員会」

委員長	町田 泉 (理事兼務)	広報	脇坂 直子 (劇)オフィスCHK
副委員長	古市 利雄 (劇)青二プロダクション	委員	野佐 根久湖 青年座映画放送(劇)
副委員長	藤井 敬 (劇)1プロデュース	委員	加納 道夫 (劇)9プロダクション
副委員長	酒井 利夫 (劇)テアトル・エコー	委員	内海 智子 劇団 昂
書記	長谷川 正紀 併 協	委員	菊田 勝彦 (劇)同人舎プロダクション

オール芸能人・オールスタッフのPR&検索サイト

ビジネスモデル特許申請中

データ蓄積中。

芸能ネット

http://www.geinou-net.com

アーティストPR & スタッフ編成のサポートシステム

- プロフィールを登録して自分をPR。通常のプロフィールの他に音声やビデオ画像も入れられスケジュール表示等も可能です。
- 理想のキャスト・スタッフがキーワード等で簡単に見つかります。●当サイトでは、芸能関係の制作担当者の方々に積極的にPRし、システムを利用していただくことで、登録いただいた方々のアピールの場にしていきます。
- 現在、登録者募集中! 実演・実務歴10年以上の方500名様に限り、基本登録(写真・プロフィール)の掲載を無料で受付中!(2001年12月末日締め切り・写真は持込のみ受付可とさせていただきます)

お問い合わせはこちらまで — 株式会社 日本ナレーション演技研究所 インターネット事業部
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-23-1-420/TEL:03-5358-8271 FAX:03-5358-8272

喜怒哀楽

小野伸一さん

取材=脇坂直子 カット/豊田紀雄

(TVのない子供の頃、娯楽といえば映画鑑賞。映画好きの母親に連れられ『人間の条件(主演仲代達矢)』を見た記憶が残る)(株)仕事の代表として無名塾のマネージメントや舞台プロデュースを行う小野社長に、業界に入ったきっかけ、今後の抱負をお話いただきました。



プロフィール

小野 伸一(おの しんいち)

昭和二十七年一月二十一日生まれ。

東京・世田谷出身。血液型はO型。

最近見た映画で興味深かったのが

『オール アバウト マイマザー』

30才で肝臓を患って以来、休める

時はビデオを鑑賞。

座右の銘は『和を以って貴しとする』

『じゃあ、日テレに「傷だらけの天使」の台本取りについてね」俳優座映画放送株式会社の佐藤正之にそう言われ、渡された五千円札を握り締め呆然としました。だって、僕は、その日就職活動に行っただけですよ。初対面の佐藤との面接の締め括りが台本取り。日大芸術学部を卒業し、就職難で国立劇場で文楽の裏方のバイトをしている時の事でした。俳優座のマネージメント部門としての俳優座映画放送株式会社が、そこが昭和60年の9月1日に分離して(株)仕事になりました。主な仕事は仲代達矢を始めとした無名塾の役者さんのマネージメントを中心にテレビや演劇の制作を行っています。4年前の12月に佐藤が亡くなり、経営会議で社長に任命され、驚きました。まだ44歳の若輩者でしょう。その重圧を背負い切れるか。まず、東北公演中だった仲代の所へ報告に飛行機でいったのですが、「全面的に

バックアップする。頑張れ」と励まされ、先輩や社員に支えられ、何とかやらせて頂いています。性格的にはパーテイーとか、雑誌を含めたこういう取材(小紙)とか人前に出ることが、大の苦手なんです。今の苦勞はTV局や映画会社の偉い方々に、名前と顔を覚えて頂く事ですね。何度もお会いし、ご挨拶させて頂くしかないんでしようが、名刺を渡した時は、「仲代さんのとこの」とおっしゃって頂けるのですが、次に会った時は、もう忘れられているから(笑)マネージャー業の醍醐味って、人それぞれでしょうが、私にとつては一流の人に会えることでしょうね。まだ駆け出しの頃、佐藤の周囲には、作家・監督・脚本家・役者さん等々、全て一流の人ばかりでした。普通なら、私個人として絶対に会うことも話すことも出来る方々じゃないのに、その中の会話を聞くことができる。動きを見ていてだけでも勉強させて貰いました。佐藤正之、上司であり大学の先輩だった松木征、プロデューサーとしての私を育ててくれた香取雅史この三人が私の師匠です。既に三人とも他界してしまいました。今あるのも三人のお陰だと思っています。芝居は、今年の六月にニール・サイモンの『おかしな二人』をやり、来年の一月に無名塾公演『セールのスマンの死』を企画しています。個人的にはコメディイ物をもっと上演し、多くのお客さんに芝居の楽しさを伝えていきたいと思っています。

マネ協・健康診断の報告

事務局 伊藤



7月25・26日に亘り、今年もまたマネ協会員の福利厚生を目的とした健康診断が実施されました。受診者数は、会員10名・スタッフ会員27名・一般社員123名・事務局1名の合計161名になり、前回の144名を20名近く上回ります。これは、事業者やマネージャー諸氏の健康管理に対する意識が向上してきたことを示していると言えますが、一方で受診されていない方も数多くいらっしゃいます。もちろん、自社で健康診断を実施しているところもありますが、特に行っていないところもあるようです。時間に余裕がないのかもしれませんが、だからこそ健康には気を配るようにしていただきたいです。人数の増加もあり、今年は時間帯によって混雑も見られました。来年は受診できる時間を増やす予定ですので、少しでも多くの方に受診してもらえればと思います。

加藤事務局長おつかれさま!

2000年7月25日、加藤事務局長の歓送会が開催されました。ご本人の「やるなら内輪で…」と言うご意向もあり会員事業者だけに呼びかけた慰労会でしたが会場に入り切れないほどの出席者があり、長年に渡る加藤事務局長のご苦勞をねぎらいました。加藤さんの役者時代、プロデューサー時代、マネージャー時代のそれぞれを知る会員の昔話なども飛びだし。大変楽しく和やかな会となりました。最後に加藤さんからのお礼のお言葉がありました。その中にはマネ協のあり方やマネージャーの心構えについて示唆に富んだお言葉も沢山あり、今号の一面にインタビュー形式で採りあげさせていただきました。 [松田]



あいさつする梅田理事長



加藤さんは奥様同伴で出席してくださいました。

出席者にお礼のあいさつする加藤さん



久保理事相談役の音頭でカンパイ!

多勢の会員やスタッフ会員が出席されました



後任事務局の伊藤さんより記念品を贈呈

加藤さんのかつての部下たちも勢揃い



映画動画・マルチメディア 実務小委・部会報告

担当理事 町田 泉

今年度より映画動画担当理事に推薦され、今迄通り実務小委・委員長を兼任する事になりましたので、どうぞこれからも何卒よろしくお願い申し上げます。

さてマネ協オーディオ部会は、映画動画委員会と、マルチメディア委員会の2つに分かれ活動しておりますが、マルチメディア委員会の課題であった「GSランク」が昨年1月から実施され、関連メディアの諸問題も3団体で討議、検討される様になったのと、ランク表も、映画動画ランクと、GSランクが、表に同一記入される様になった為、委員会を一本化する事により、諸問題の対応を早めるメリットが必要となった為です。今年度の実務小委、各委員も決定し（メンバーは、別掲をご参照ください）新メンバーで今期2年間、諸問題に取り組んで参ります。前号でご報告申し上げた各事項以外で、新たな問題が生じたので、この件に付き報告します。皆様ご承知の様に、WOWOWの料率は昨年4月より、映画50%、動画60%となっており、目的外使用料もこれに伴い、見直しをされております。この内外画ビデオ転用については当初作成された表にミスがあり、これについては昨年6月25日の3団体会議において、3者間の確認事項として、「25%を40%として、10月1日より実施する」となっていた訳ですが、音声連サイドで、この事が統一されておらず、この為一部の制作会社では、当初の25%の見積りのままビデオ制作会社と折衝し、数字の違いを指摘されても、先方には今さら言えないし、何とか今回は認めて欲しい旨要請がありました。委員会は7月11日に各会員を招集し、この問題を説明し、結論として、日俳連の承認が必要である、との見解を基に、7月26日、合同会議を開き検討した結果、日俳連サイドの意見は、以下の通りとなりました。

- ① 東北新社製作「サウスパーク」ビデオ転用料は、第一シリーズのみ25%で承認する。
- ② 第二シリーズはルール通りとする。
- ③ 音声連より第一シリーズ該当会員に対し謝罪文が欲しい。

④ ビデオ会社へ原稿料率40%であることを提示して貰う。

⑤ 該当会員へ所属事務所より事前に説明しておいて欲しい。
以上の見解を9月の3団体で報告します。折角ルールを作り、そのルール通り出演させなければならぬ事が、一つのミスや油断の為此の様なことになってしまふのはとても残念なことです。この件につきましては改めて結果をご報告する様にします。

次にB5デジタル放送料の件ですが、これも前号でご報告申し上げた通り、地上波のG外並でスタートする訳ですが、9月より試験放送も始まり、本放送用の作品も、そろそろ開始予定となります。経緯を見守りたいと思っておりますが、実際スタートしてみても、もし何かありましたら、必ずご連絡ください。

次に、新人登録者制度の件です。マネ協より期間の問題で、2年を3年にして欲しい旨要請しておりましたが、7月26日、日俳連より正式に回答がありましたので、そのまま揭示することになります。内容をよく読んで、ルールを守る様にしてください。尚、申請及び抹消時期については、委員会内で検討、来年度より実施したいと思っておりますので、改めて部会内でご報告申し上げます。

マネ協オーディオ部会各位 殿

新人登録制度の見直しについての確認の書

日俳連・映画動画部会
委員長 塩屋 浩二

- ◎ 現行の新人に関するルールは変更しない。
- ◎ ただし、登録日時は最初の仕事をした日とする（出演からとする）。
- ◎ 新人の報酬は現行通り。
- ◎ 新人の期間は規約通り、最大3年間。
いかなる理由があろうとも4年目は認めない。
- ◎ ただし、過去の登録者については、各々の事務所の処理に任せるが、良識ある処理を、されたい。
- △ 毎年毎年、新人は入ってくるので抱えすぎないように、事務所として目の届く範囲の人数とされたい。
そのほうが新人たちにとっても、幸せな結果になると思われる。

平成12年7月26日
以上

「日本タレント名鑑」 存続の危機

担当理事 守屋俊郎

日本タレント名鑑が、タレントのマネージメントを生業とする我々にとって無視できないばかりか今やキャスティングにおいて大いに必要な存在となつたことは、多くのマネージャー諸氏の認めることと思ふ。

その日本タレント名鑑が存続の危機にあると伝え聞き、先日、豊田理事、打田理事と共に発行元のVIPタイムズ社へ訪れ、代表の井草繁太郎氏に実状を伺つた。

「存続の危機」は事実と云えた。と云つて、経済的なことや社内事情ではなく、我々、掲載をお願いする側にこそこういった事態をもたらした要因があると思われる。

名鑑が使いやすいよう見やすいようにと、代表の井草氏はタレントの写真や情報を小さくすることなく、一冊にまとめ、かつ掲載料は今まで同様一切頂かない方針を貫くと断言する。

しかし年々タレントの数は増え続け既に許容を越える事態に至つて、止むなく各事務所に掲載人数の削減をお願いしているとのことだ。

だがこれは、我々の問題だ。ほとんど俳優としての教育や経験のないもの、半年一年で所属を離れると分かつている者、エキストラ出演しかない者、これらを所属の俳優として掲載を求め事務所の在り方を思うにつけ、我々自身が規制しないことには、互いに長い時間をかけて作りあげた「信頼と共存」が一瞬に崩壊しかねない。

「日本タレント名鑑」が我々にとって有用である限り、マネ協として何が出来るか、存続を願つてどう云う協力がマネ協に可能なか今後検討を重ねていく所存だ。

マネ協研修懇親旅行のお知らせ

第2回マネ協研修懇親旅行は、今秋11月の鬼怒川温泉にしたいと思ひます。紅葉を見ながら、情報交換や雑談を含めて楽しい研修会にしたいと思ひます。第一回マネ協研修懇親旅行は、NHKドラマ部チーフプロデューサーの川合淳志氏を講師にお迎えして催しましたが、今回はマルチメ

ディア時代、21世紀デジタル放送時代を迎えて、放送界の激変が予想されますので、そういった事情に詳しく、芸能界の動向にも理解のある方を講師にお迎えしようとする人選中です。詳細が決まり次第お知らせ致します。ご参加をお待ちしております。
担当理事 亀井俊夫

在京民放TV4社『ドラマランク申請』に関する説明会開催!

民放TV4社ドラマランクの申請に関する説明会が平成12年7月14日(金)の17時から「恵比寿エコー劇場」において開催されました。今回は11月期申請社を対象とした説明会でしたが翌年3月期申請社にも呼びかけた説明会となりました。(3月期は民放幹事社が変わりますので参考としての説明です)

前回のドラマランク申請時において『書類不備』や『締め切日を守らない』などのプロダクションが多数あったため幹事局がマネ協を来訪され文章による申し入れがあったためです。書類不備は27団体もあり<現行ランクの誤り><申請額未記入><100以上は5単位でUPするのを知らない><添付すべき書類が未提出>などの点が指摘されました。出演条件改訂の申し入れについては現行の最低基準出演ランク34000円が35000円に引き上げられる事になりました。説明会には在京民放TV4社謝金連絡会の幹事社となる(株)東京放送(TBS)の池田淑子氏にも出席していただき下記の様な説明や要望がありました。

(1)申請書類提出期限

2000年7月28日(金) 必着のこと

*締め切り日を厳守してください。お守りいただけない場合は交渉不参加と判断させていただきます。

(2)申請書送付先

〒107-8006 東京都港区赤坂5-3-6

(株)東京放送 テレビ編成局 メディアライツ推進部 担当 池田淑子 宛

*必ず郵送で申請願います。FAXでの申請は受け付けません。

*封筒に「申請書在中」と明記してください

(3)最低基準出演料 35,000円

*ただし、18才以上(高校生を除く)で、2年以上の演技養成課程終了のもの、または同程度の経験と演技力を有するものに限りです。

*新人申請は芸歴書に履歴の記入をお願いいたしますが、記入不備がある場合は、お受けできない可能性がありますのでご注意ください。

(4)現行ランク保有者の全員一律アップ方式は行いません。(従来通り)

(5)ランクアップ希望実演家のみ申請額を記入してください。

申請書には、これまで通り所属実演家全員の氏名と現行ランクを記入していただきますが、各プロダクションで、特にランクアップを希望する実演家に限り申請額を記入してください。その他は据え置きとさせていただきます。

また、アップ申請をされる実演家については、所定の「申請資料」に申請理由、過去2年間の実績を詳細に記入してください。

(6)新人及び新規申請実演家については従来通り写真添付の芸歴書を提出してください。

新規申請者で過去にランクを保有していた実演家については、設定年月日及び当時の所属事務所名を記入してください。

なおランクを保有されたことのない実演家についても、旧所属事務所及び養成所等の所属期間および名称を明記してください。

(7)テレビ番組出演の実績を重視させていただきます。昨年度の三団体との合意に基づき、3年間にわたりテレビ番組出演の実績がないプロダクションに関しましては、ドラマランク制度よりご遠慮頂くことになりました。

つきましては、過去2年にテレビ番組出演の実績がないプロダクションにおかれましては、これからの1年に実績を残して頂くようお願い致します。

*実績対象期間 1998年11月1日～2001年10月31日(過去2年+これからの1年)

*実績対象番組 テレビ番組全般(ドラマに限らずあらゆるジャンルの番組)。

また制作形態も問わず、NHKの番組も対象となります。

(8)四社査定書送付 2000年9月上旬予定

(9)ランク交渉期間 2000年9月下旬予定

日時、会場は査定書送付の時にご連絡いたします。



JAPAN MANAGERS ASSOCIATION

MOVEMENT REPORT

<2000年5月>

- 11日 三団体 [マネ協・日俳連・音声連] 実務小委員会 (音声連にて)
- 16日 第108回定例理事会 (マネ協にて)

<2000年6月>

- 7日 三団体 [マネ協・劇団協・日俳連] 会議 (日俳連にて)
- 8日 テレビ東京よりランク申請手続きに関する要望 (マネ協にて)
- 15日 三団体実務小委員会 (音声連にて)
- 19日 常務会・第109回定例理事会 (マネ協にて)
- 21日 健康診断 (代々木病院、千駄ヶ谷診療所にて)
- 22日 //
- 26日 民放四社・三団体会議 (TBSにて)

<2000年7月>

- 4日 NPO法人設立の特別研修会 (NPO事業サポートセンターにて)
- // VIPタイムズとの会談 (VIP社にて)
- 10日 TBSよりランク申請手続きに関する説明 (マネ協にて)
- 11日 外画動画部会 (俳協にて)
- // 常務会・第110回定例理事会 (マネ協にて)
- 13日 三団体実務小委員会 (音声連にて)
- 14日 民放四社ドラマランク説明会 (恵比寿エコー劇場にて)
- 25日 加藤事務局長、歓送会 (外苑前・龍井茶楼にて)
- 26日 二団体 [マネ協・日俳連] 実務小委員会 (日俳連にて)

<2000年8月>

- 4日 会報企画・加藤事務局長対談 (マネ協にて)
- 7日 外画動画、新人登録の提出
- 14日~18日 事務局・夏期休業

◆お詫びと訂正

本報7号に誤記がありましたので以下の通りに訂正してお詫び申し上げます。

(5ページ下段) 9プロ、とあるのは『九プロ』です。
(7ページ中段) 峰の会、とあるのは『蜂の会』です。

編集スタッフ連名

豊田 紀雄 岩淵佐津夫 小路 哲
脇坂 直子 佐藤 達郎 内海賢太郎
松田 咲實 伊藤 信

マネ協新加入事業者の紹介

(有)元氣プロジェクト

〒151-0064 渋谷区上原
1-32-19MIYOSHIコーポ
405
TEL 03-5465-7734
FAX 03-5465-0824



代表・会員代表
岡本 邦裕

(有)冴羽商事

〒170-0013豊島区東池袋
3-1-4メゾンサンシャイン1032
TEL 03-3590-6986
FAX 03-3590-6987



代表者
神谷 光代



会員代表
神谷 明

バーズ(株)

〒150-0012渋谷区広尾
1-3-14葉山ビル303
TEL 03-3441-7188
FAX 03-3441-1995



代表・会員代表
丹 芳男



加藤事務局長が惜しまれながら引退されました。生涯、この業界に身を置かれた人と言っても過言ではないでしょう。個人的には俳協時代、私の上司でもあった方ですが、一徹で短気で純粋な面があり、意見が衝突したことも何度かありました。しかし弱い人や人権を大切にする姿勢は素晴らしいものがありました。加藤さんが売り込み育っていった著名俳優も大勢いますが、マネージャーの信用と力で世に出ていった俳優たちでも、あまりその認識がない人もいて、この職業についてやや淋しさを感じてしまう時もあります。加藤さんのようにマネージメント業に誇りを持ち、清貧な生き方が私にも出来るだろうか？と己の日々を反省するばかりです。

編集部 松田咲實

一 訃 報

東京俳優生活協同組合の前理事長、田村榮一氏が、7月4日逝去されました。享年69歳。謹しんでご冥福をお祈りいたします。

●会員名簿の訂正と変更

(株) アイエス	会員代表者「名倉正典」氏の漢字が一部、間違っていました
(有) 江崎プロダクション	社名変更・移転・(株) マウスプロモーション 代表・会員代表 江崎加子男 〒160-0022 新宿区新宿6-25-14 S2ビル アネックス1F TEL03-5291-6281 FAX03-5291-6336
(有) 宝井商店	社名変更・(有) 宝井プロジェクト
プランニングメイ (有)	移転・〒105-0001 渋谷区神宮前2-33-5 パーク・ノヴァ神宮前309 TEL03-5772-1773 FAX03-3796-2600

マネ協

題字 杉村春子

◆ 発行 ◆

Vol.9

日本芸能マネージメント事業者協会
〒160-0022 東京都新宿区新宿
1-29-5 グランドメゾン新宿東210
TEL. 03 (3225) 5984
FAX. 03 (3225) 5949
E-mail : manekyo@nifty.com

■発行日 平成13年 2月 5日
■発行人 梅田 濠二郎
■編集人 松田 咲貴
■印刷 剛 谷本 企画

M A N A G E M E N T R E P O R T

「マネ協」21世紀の指針



日本芸能マネージメント事業者協会
理事長
梅田 濠二郎

新年おめでとご御座います。

いよいよ21世紀を迎えてマネ協は益々その果たすべき役割が重要になって参りました。

私も理事長に就任して4年目に突入しました。副理事長を始め各理事諸氏や各部会委員の皆さんの協力を得て現在まで無事任務を遂行して参る事が出来ました。新しい年を迎えてまず最初に取り組みたい事はマネ協の法人化を急ぎたいと言う事です。CPRA傘下の「実演権利者機構」(仮称)の構成団体の一員となりマネージメント事業者の団体として複製使用配分の権利を主張していく為にはいずれ法人化は避けられない条件となるはずで。

次に今年度の重点目標にしたい点はマネ協の未加入事業者へ加入を働きかけ、加盟事業者総数を150社まで増やしていきたいということとです。組織として業界内の発言力を増したり運営資金を潤沢にする意味でも、同業者へのマネ協勧誘活動が大切になって参ります。更にスタッフ会員を110名に、賛助会員も30社位まで伸ばしたいと思っております。実現の為に理事と会員事業者皆さんのご理解と積極的なご協力が必要になって参ります。

最近では会員事業者間における俳優やスタッフの移籍に関連してトラブルに発展する事態も見受けられるようです。早急にルール委員会を機能させマネ協として「移籍時の基本的ルールや見解、指針」を示していく事が大切と考えます。トラブルの仲裁までは不可能にしても揉め事を未然に防ぐ為には全会員が納得出来るルールをマネ協として策定し明示する必要があります。

フジテレビや民放4局のランク制度のあり方も局は経営を守る立場から時代と共に要望も変化して来るに違い有りません。所属俳優を守る為にマネ協も様々な折衝を重ねその役割を果たしていく必要性が更に高まるでしょう。

また会員事業者が「顔を出し易い事務局づくり」も心がけて参りたいと思えます。出来れば事務局伊藤君のアシスタントに当たる人材を採用できればと考えています。勿論経済状況が許せばですが、是非とも実現に向けて努力してみたいと思えます。また新しい試みとしましては今年実験的に会員事業者有志(3劇団)の卒業生の公開オーディションを会員に限定して実施したいと思えます。好評であれば徐々にジャンルを越えて恒例行事にしていくればと考えています。

役者に惚れ、局に信頼され、いち早く情報を入手できる「プロのマネージャー」がマネ協に大勢集う事により実践力も信頼も知名度もあるマネ協に成長していただけるのではないのでしょうか。

21世紀と成り私自身も心新たにマネ協発展のために更なる努力をして参りたいと思えます。

花王(株) クリニコ(株) 小林製薬(株) ペンディオロツン ヤクルト化粧品(株) 養命酒製造(株)

- (株)アーツビジョン
- (株)アイエス
- (有)アイムエンタープライズ
- (株)青二プロダクション
- (有)岩淵ぐるうぶ
- (株)ウイットプロモーション
- (有)ヴィーヴ
- (株)81プロデュース

- (株)円企画
- (株)九プロダクション
- (有)賢プロダクション
- (有)元氣プロジェクト
- (有)現代制作舎
- (株)さち子プロ
- (株)オフィスCHK
- (株)シグマセブン

- 株式会社
- 劇団 昂
- 青年座映画放送(株)
- (株)テアトル・エコー
- 東京俳優生活協同組合
- (株)同人舎プロダクション
- (有)中里事務所
- (株)ぶろだくしょん 巴オパバ

- 劇団 文化座
- (株)文学座
- (株)放映新社
- (株)宝映テレビプロダクション
- (株)マウスプロモーション
- (株)劇団民藝
- (有)ワンダー・プロダクション

▲上記の皆様方には、マネ協・新年会に景品提供を頂きましたこと、理事会一同厚く御礼を申し上げます。

理事に聞く 新世紀のマネ協の展望

①未加入事業者の勧誘 ②事務局資金の増収入 ③法人化問題

江崎理事

- ①分離独立した事務所への加入呼びかけ。
- ②二次使用料の権利の拡大。
- ③法人化が難しいのなら協同組合に。

岩淵理事

- ①事務局員の知識をひろめ、力を持ちマネージャー基礎知識手帳などの作成。
- ②賛助会員になることのメリットを訴え、賛助会員を増やす。
- ③法人化にするための条件を全会員に認知させる事が先決。

小野理事

- ①マネ協の名前を売り、加入した事によるメリットを訴える。
- ②加入事業者を増やす。
- ③法人化した場合のメリットを研究。

中里監事

- ①加入した事のメリットを訴え、加入者が増えることによってメリットも増す。
- ②会費の値上げと賛助会員の増加。
- ③絶対やってもらいたい、金の問題を解決。例えば法人株の株主を募集する。

町田理事

- ①出演料の未払い会社等を公開して、入らなければ損である事を訴える。
- ②マネ協主催のイベント開催。インターネットを利用して、様々な情報を流す事によって収入を得る方法。
- ③まだすぐには難しい。

亀井理事

- ①会のアピールをする。
- ②行事を催して取入をはかる。
- ③是非やってもらいたい。

田村監事

- ①十分な話し合いの上、事業を興す
- ②そうすれば収入も増える。
- ③法人化とは何なのか、法人化した場合のメリットを先ず知らせる。

田寺理事

- ①不良債権の取り立て等、理事会が打ち合わせをする。
- ②会費の値上げ。
- ③実現するよう努力を続けていく。

熊野理事

会員事務所の所属俳優を中心としたプロモーションビデオを兼ねた映画（デジタルカメラ）を作り、上映会を催す。その会場ではマネージャー、出演者も出席しテレビ局のプロデューサーやディレクターに観てもらおう。マネ協の宣伝になるし、新人俳優にとってもいい事だと思う。

福井理事

- ①未加入の会社にどんどん呼びかける一方、未収金の回収等コツコツやって会の結束を固める。
- ②加入者を増やすこと。
- ③マネ協自体しっかりしていけば、法人化の道は拓かれると思う。法人化した場合、加入者も増えると思う。

山崎理事

シスカンパニーや、アルファエージェンシー、テアトルロード、ポッシュのような大手プロダクションの加入をすすめる。マネ協が力をつけ、テレビ局や制作会社と対等にならなければ。

打田理事

- ①未収金の回収等出来た場合、未加入者との差を付けたい。
- ②会費を上げるというのは、小さな事務所にとっては難しいのではないかな。
- ③専門的な研究を重ねる。

豊田理事

- ①勧誘特別期間等を設定し、一社が一社を加入させる位の努力が必要かも。
- ②スタッフ会員の大量入会。
- ③地道な研究と資金作り。

松田理事

- ①ねばり強くマネ協の必要性をアピールしつづける。
- ②会員事業者を増やす。会費も見直し
- ③社会的認知を得るために急務です。

守屋理事

- ①加盟メリットの充実拡大。
- ②上記を前提として、会費増額。
- ③運営資金の安定がはかられるまで時期尚早。

(順不同)

CHK声優センター

TEL.(03)3237-7400

マウスプロモーション 付属俳優養成所

試験日：3月20日(火) 21日(水)

問い合わせ先

〒160-0012新宿区新宿6-25-14 S2ビルアネックス
TEL03-5291-6281

外国動画部会・部会報告

理事・実務小委員長 町田泉

21世紀明けましておめでとうございます。どうぞ本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。昨年12月より、BSデジタル放送が開始され、これに地上波、NHK、BS1、2とハイビジョン放送、WOWOW、CSデジタル放送といよいよ他チャンネル時代の突入となりました。更に新メディアの料率として、インターネット用の作品については、ビデオ作品と同じ料率と設定しましたので、どうぞご承知ください。又現在50%となっているNHK、BS用作品については、本年3月31日迄の期間限定となっており、新料率について提示がある予定となっております。料率の変更される場合、又はされない場合もいずれにせよ改めてご報告いたします。又、本年4月より改訂の新ランクについては、予定通り昨年12月15日に、マネ協事務局より音声連事務局へ提出され、近日中に音声連各社にて検討される予定です。ランク改訂に伴うレギュラー作品の「仕掛り作品リスト」は2月末日に音声連より提出され、当部会では3月中旬までに会員各社に説明会を開催します。是非ご参加ください。これと平行して3団体では、「運用表」の一部見直しを検討中です。既に日俳連より新運用表改訂案の提示があり、次回検討する事になっております。一番大きな改訂部分としては、「目的別一括処理方式」の中には、「再放送料」は含まれない事を記入すると同時に、「買い取り方式の料率変更を明記したものです。この料率変更については音声連にて協議の上、次回討議しますが、混乱必至だと思われまます。この件も部会の説明会にてご報告申し上げます。いずれにせよこの背景には、「一括処理方式」の認識に、一部誤解があったことが発端だったと言わざるを得ません。これは(株)楽音舎が、この方式がスタートするまでは必ず作品登録を行っていたにも拘わらず、その後登録をしなくなってきた事、大きな問題となったからです。最終的に(株)楽音舎は、音声連加入の意志ありとの確認は取れていますが、未登録作品の処理について現在折衝中です。

メディアが多様化し、音声連外の製作も増え、それでも運用表に添ったルールを守りながら出演し、出演させなければなりません。現在の問題点をどのような形で処理して行けばいいのか? 会員各位のご意見をお聞かせ願えれば、と思っております。(後日アンケートを実施する予定です)

「黄落」映画化について

理事 熊野勝弘

佐江衆一氏の「黄落」という小説をテレビドラマ化するにあたって、当社の俳優に出演依頼があった。すばらしい原作で、社会的に意義のある仕事だった。放送が終了かかなりの反響があったという連絡をプロデューサーの方からいただいた。芸術祭に出品、優秀賞を受賞した。しばらく経って、製作会社の方からお電話を頂戴した。「黄落」の評判が良いので映画にしてより多くの皆さんに見てもらいたいと思うのですがいかがでしょうか。「僕は「それはいいお話ですね。」とお伝えした。それからしばらくして、別のドラマで鹿児島へロケに行った。市電を借り切って撮影している時、運転台の横にひもに吊るされたチラシがあった。「黄落」の映画上映会のチラシだった。「えっもうやっていると。でもあれから何の連絡もないよな」と思いながらチラシを東京へ持ち帰った。製作会社のプロデューサーを訪ね映画のチラシを見せて二次使用料の事を聞いた。テレビ東京の方が聞いた。二次使用料は発生すると思うのだが、どうなのか。映画にしたいという話はテレビドラマ放送後に起きた話であって、もし始めから映画にするという話が出ていたら出演料の交渉も変わったものになっていたらと思う。又しばらく事態は一向に進展しないまま時が経った。

マネ協の理事に推薦された僕は理事会でこの問題を相談した。それで副理事長の山崎氏と豊田氏に同行してもらって再びテレビ東京の方にお願いしてお話をお伺いした。そこではじめて判った事は、映画化されている作品は「黄落」だけではないこと、そして、この映画化にあたっては主な俳優さんの所属事務所に宣伝協力費という名目でお金を支払って、(実質的な二次使用料)というのだが、映画化のOKをとっているという事だった。「黄落」もそういう風に処理している報告を受けていると言う。話が食い違っている旨説明して事実を確認していただくよう再度お願いをした。しばらくして当社の俳優に宣伝協力費と言う名目で何がしかのお金が支払われる事になった。最初に問題提起してから2年が経っていた。それにしても一つの目的の為に製作された作品が(たとえテレビであれ映画であれ)その目的以外に転用され、その転用する事で利益を得た人が転用される利益の一部を作品に参加した人に還元するというのは当然の事ではないかと思うのだがいかがでしょうか。

CXランク関連

副理事長 山崎讓

CXが民放五社統一ランク制度から脱退し、独自に出演料制度を制定して一年が経過した。マネ協としては、各社に対し一年間の実情調査を十月に行った結果、出演の機会が有った会社は、回答70社中、23社であった。アンケート中気付いた点のみお知らせ致します。

- 出演回数(変化なし、減った) 20社
- 最低出演料(4万円) 、下回った……0社
- 出演確認書は取り交していない……20社

新制度によって大きな混乱はなかった。この実情をもとに、三団体と会議が行われ、十一月二十四日、CX側(ライツ松山下氏、板垣氏、高畑氏、田中氏、制作、大多氏、鎌田氏)と話し合いが行われた。会議の席上CX側は、新制度のメリットとして、事務的なことが簡略化されたことのない俳優までランク査定しないこと、自由に関各社とギャラ交渉出来るようになったこと、この制度は今後も継続したいことであった。又、互いに今後確認書を取り交すことを現場に徹底すること、一年に一回は話し合いの場をもち、問題点に対応できるようにすることを合意した。

三団体としては、現行の民放四社とのランク制度は継続しつつ、CX側と個別交渉する方法を今年も行う予定である。

提案!

仕事柄どちらかと言うとアナログの人間が多いマネージャー業界ですが、デジタル時代に遅れをとらない為にもコンピュータやインターネットに親しむ為の勉強会を開催しませんか? という呼びかけの提案が会員事業者から寄せられています。事務処理などもパソコン活用で随分省力化できます。賛同者が多ければ是非実現したいと思います。「教えてあげてもいいゾ!」と言う人も含めて編集部が事務局まで。(松田)

アーツビジョン附属日本ナレーション演技研究所
【平成13年度受講生募集中】
<東京校>
 ◇週1回クラス(演技)
 ◇週3回クラス(演技、ダンス、ヴォイストレーニング)
<大阪校・名古屋校>
 ◇週1回クラス(演技)
 東京都渋谷区代々木1-14-3 松田ビル1階
 (お問い合わせ) TEL.3372-5671
 (ホームページ) <http://nichinare.com>

青ニプロダクション附属養成所
青ニ塾
第22期塾生 (本科昼間部生) 募集中!
第4期II部生 (夜間部生)
 (お問い合わせ)
 東京都武蔵野市吉祥寺東町1-11-18 MビルB1
 青ニ塾東京校事務局 電話0422-21-7893

喜怒哀楽

清水百合恵さん

取材=脇坂直子 カット/豊田紀雄



「業界広しと言えど趣味の日舞で国立劇場の大舞台で舞ったのは清水だけでしょう。本当の意味で強く優しい」と推薦者のマネ協理事の町田泉氏が語る(株)ぶろだくしょんバオバブ代表の清水さんは、声優業界初の二代目代表でありベテラン女性Mgr、私事では一児の母親でもある。

もともとMgrとして業界に入ったのではないんですよ。知人の紹介で始めは演協プロのデスクとして、次に太陽プロモーションそしてジャッキー・チェンの吹き替えもしている声優の石丸博也さんに声をかけて頂き「バオバブ」に入社し21年になります。娘が大きくなるまでは、そうね、小学生の3年か4年生位かしら、ずっとデスクをしていました。と言っても子育てとの両立でしたから大変でしたけど、日中は近所に住む妹に随分助けて貰えたので、恵まれていましたよね。思春期の頃は、むしろ親の働く姿を見せるようにし、また色々相談するようにしました。Mgrとして現場に出ようになれば飲み会や何やで、時間も不規則になり、家にいる時間が少なくなる。寂しがる事もありましたが「お金に困らないで生活できるのもママがMgr.をしてるからよ。9時から5時のお仕事とどっちがいい！」って。彼女なりに納得してくれたのでしょね。その代わり娘がやりたいと言う事は何でもやらせてあげました。

ぶろだくしょん

清水百合恵(しみず ゆりえ)

一月十三日茨城県生まれ。

3才の時に東京に転居。

血液型はA型。

日舞は11年間、陶芸を初めて1年。

休日も家にいる時は少なくバイタリティー

にあふれ、嫌な事は即忘れるのが元気の秘訣。

バレエにピアノに留学、今はグラフィックデザインとして独り立ちを始めたけれど、本当に素敵な女性になつてくれた嬉しいです。私が3年前に社長の任命を頂いた時も慣れない資金繰りなどを考え、気分を重くしている「ママ、金額が大きいから焦らないで。ずっと、家計の遣繰りをして来たんでしょ。ゼロが2つ3つ増えただけって思えばいいじゃない」って。それを聞いた時は、目の前がパツパツ開きましたね。アツ親バカって笑わないでね。声優のMgr.って男性中心だったけど、今は若手にも女性が増えてきて頼もしいですね。声優さんも、Mgr.も、まず社会人として仕事を頂くのだから、人間性の大切さとプロとしての自覚と想像力を持って現場に入つてほしいです。私も新米の頃は失敗もしたし、怒られたけど、負けず嫌いで他人のせいになかったから続けられたのかな。人間明るく元気がいいのが一番。過去は振り返らない主義だから嫌な事は即忘れてしまう。時々、部下や役者さんから「百合恵さんに頂いたアドバイスで助かりました」ってお礼を言われるけど言った本人が忘れてる。聞くと凄く良い事言っているんですよ。これが。アハハ。Mgr.の仕事っていいですよ。10年修行して一人前になれば専門職ですからね、一生食べるのに困らないわよ。なにより楽しく働けるじゃないですか。21世紀は女性の時代です。BS・CS・ハイビジョンとこの先もまだ混沌としていますが、一緒に頑張つて、新しい時代を築いていきましょう。現場でお会いした時は「百合恵さん」って声かけて下さいね。

出版社等からの資料提供
出 依頼の対応について

CD-ROM版や書籍用に使用する為のタレント写真やプロフィールを提供してほしい旨の要請が最近多くなっています。所属者全員ともなると大変手間も費用もかかる問題となります。そのような時にどのように対応すべきかと言う相談が会員事業者

者から何件か寄せられましたので理事会でも討議致しました。結論としましては「各社対応」と言う事になりました。手間暇がかかってもそのメディアを活用して所属者のPRに活用したいと言う場合や、扱われ方によってはイメージダウンになるなどの判断は各社自身で行って下さい。会員事業者全体に要請が来ていない時などはマネ協としての統一見解も出せない場合がありますので原則としては「各社判断」となります。

マネ協自体に企画段階で相談があり運営資金捻出目的で一定の協賛金をうけながら取り組む場合(「声優辞典」等)も有りますが、その時はマネ協から会員事業者の皆さんに改めて御相談しながら進める事になります。それ以外の場合、基本的には各社対応をお願い致します。

(副理事長 松田)

マネ協 / 研修旅行会 in 鬼怒川

昨年11月22日～23日にマネ協主催の研修旅行会が鬼怒川温泉の「あさやホテル」で開催されました。晩秋の鬼怒川は紅葉が盛りを過ぎていましたが時々ハッとさせる色鮮やかな紅葉が残っていたり、落葉した葉が色とりどりに樹海をうめ尽くしていました。渓谷を縫うように走る山脈を分け入って、日頃淀んだ空気のスタジオ周辺で働いている私達においしい空気を施してくれました。研修は「マネージャー基礎講座」「我が社のIT戦略」などをテーマに分科会で行われました。その後は待ちに待った「懇親会」となりました。夕食後は「中国雑技団」の、これぞエンターテイメントと言う目を見張るような軽業を堪能して初日を終了。翌日は朝食後自由行動となりハイキングに行く人、のんびり温泉につかる人と様々でした。なによりも立派なホテルに格安で宿泊できる研修会をセッティングして下さった幹事（守屋理事・亀井理事）に感謝！！忘れかけていた自然に浸り語り飲み、みなと過ごした2日間でした。

(報告・編集部 松田 / 写真・事務局 伊藤、AIMSエンタープライズ 石月)



理事長を囲んで「ハイホース」

マネ協新企画 劇団付属研究所卒業生 公開オーディション

守屋俊郎

昨秋の鬼怒川での研修会で、突如としてこんな企画が生まれた。予定の研修が着なく終了し、ひと風呂浴びてからのお目当ての懇親会も盛会の内に滞りなくお開きとなってその後、まだまだ喋り足りない者たちや飲み足りない者たちで、ひとつ部屋で梅田理事長を囲んで尚も語り飲みという事になった。

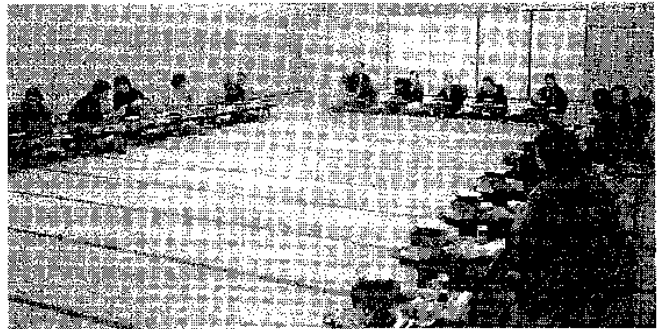
ほろ酔い加減も手伝って思いつくまま気の向くままに様々な話題で座は大いに盛り上がった事は言うまでもない。その中でも多くの時間が費やされ語られたのが「未来のスターの卵とも言うべき各劇団の付属研究所の卒業生たちのその後」についてであった。プロダクション系会員の皆さんとしては、高い競争率を経て研究所に入り俳優としての訓練をひと通り受けた研究生の大多数が劇団に残れずにそこかしこに散っていくと云う現状を聞くに及んで、残れなかった者たちにも次代のスターの可能性を秘めた俳優の卵達がいるのではないかと、また卒業生の進路に劇団はどのように関わっているのか、といった単純な疑問を抱き、居合わせた文学座・青年座・門企画の劇団系会員がそれぞれについて答えると云った風で、劇団事情によって多少の違いはあれ、入団を決定するにあたっては将来においてスターになる可能性があるという事で選ばれることはなく、卒業生に対しては他劇団やプロダクションを紹介すると云ったことも原則として行われたいという事は三劇団の共通した実情であった。前者においては事実、三劇団の研究所を卒業して後に、プロダクションで花を靡かせテレビや映画で活躍している俳優は枚挙の暇がない。

新人の発掘・育成に余念のないマネージャーは春ともなれば各劇団の研究所卒業公演を見て回り、これはと思う新人に話の声をかけているが、なかなか全部は観られないと言う。それならば、と生まれたのがこの企画だ。マネ協会員事業者の明日を輝かせる新人発掘のために、未来のスターを夢見る俳優の卵達のために、先ずは三劇団の研究所でプロダクション入りを希望する卒業生に一堂に集ってもらい、マネ協主催のマネ協会員のみならず門戸を開いたオーディションを催すのだ。卒業生とプロダクションの双方にメリットを多とする手応えを得たならば更に他の主だった劇団の研究所に参加を呼びかけると共にメジャー化をも視野に入れたマネ協の事業として継続を図る所存だ。三月の初旬に都心の手頃な劇場を借りて開催の予定だが、詳細はもう少しお待ち戴きたい。追ってご案内申し上げます。乞う御期待の程を。

「マネージャー基礎講座」
分科会



「我が社のIT戦略」分科会



なごやかに夕食会。アルコールが入ってから弁舌なめらかになった人も。

「元気が元気になった研修会」

マネ協に加入して間もない私にとっては初めての研修旅行、場所は鬼怒川温泉。

文学座梅田理事長、現代制作会豊田副理事長座長進行による「マネージャー苦勞話」をテーマに意見交換が行われ、次から次へと体験談が出てきました。楽しいもの、参考になるもの、いろいろとあり、私にとっては大変興味深いものでした。ミュージカル舞台への出演売り込み方法などの質問も出され、「これは今後役に立てよう」と思うことも多々あり、とても刺激的な意見交換会でした。一方では、アーツビジョン松田副理事長、青年座守屋理事座長進行進行により「我が社のIT戦略」の意見交換が行われたようで、「そちらにも参加したかったなあ」と少し、残念でした。

今回情熱あふれる諸先輩の中に、飛び込ませてもらい、初めてお会いする方も多かったのですが、暖かく迎え入れて下さり、文字通り、裸の付き合いをさせて頂き、「参加して良かったなあ」としみじみ思っています。

鬼怒川の紅葉も美しく、中国雑技団の一生懸命に演じる少女の瞳の輝きも美しく……

元氣パワーを充電させていただいた2日間でした。

元氣プロジェクト 岡本邦裕

「研修会に参加して」

会員事業者・社名 [106社]

- | | | |
|-----------------------|--------------------------|---------------------|
| (株) アーツビジョン | 銀プロダクション | トム・プロジェクト(有) |
| (株) アイエス | (株) 九プロダクション | (有) 中里事務所 |
| (有) アイムエンタープライズ | (株) クオレ | (有) 劇団21世紀FOX |
| (株) 青二プロダクション | (有) 草間崇事務所 | (有) 楡プロダクション |
| (株) アクセント | (株) 黒沢良事務所 | (有) ネオ企画 |
| (株) アクターズ カンパニー | (有) 賢プロダクション | バーズ(株) |
| (株) アクターズ セブン | (有) 元氣プロジェクト | (有) 劇団 俳優座 |
| (株) アクターズプロモーション | (有) 現代制作舎 | (株) ぶろだくしょん バオバブ |
| (株) アドヴァンスプロモーション | (株) コアミックス | (株) 瞳・ひとみプロダクション |
| (株) アロビコンセプト・クレイン・リバー | (株) 国際プロ | (株) 蛭川企画 |
| (有) イーアンドイー | (株) さち子プロ | プランニング メイ(有) |
| (有) イイジマルーム | (株) サンオフィス | (株) 古館プロジェクト |
| (株) 稲葉企画 | (株) 三桂 | プロミックス・アーティスト・カンパニー |
| 声の劇団 イマージュ | (株) CSRコーポレーション | [株式会社] |
| (有) 伊和井企画 | (株) オフィスCHK | 劇団 文化座 |
| (有) 岩淵ぐるうぶ | (株) シグマセブン | (株) 文学座 |
| (株) ウィットプロモーション | (有) ジェイクリップ[リベルタ] | (株) 放映新社 |
| (有) ヴィーヴ | (株) 仕事 | (株) 宝映テレビプロダクション |
| (有) エー・アンド・イー | スターダス プロダクション | (株) 舞プロモーション |
| (株) エービー企画 | (有) オーケー・ワーク・オフィス内) | (株) マウスプロモーション |
| (株) 81プロデュース | (財) 劇団 昴 | (有) オフィスマとば |
| (有) エスプレイング | 青年座映画放送(株) | オフィス 三井 |
| (株) エヌ・エー・シー | (株) 太陽プロモーション | オフィス・ミヤモト |
| (株) エ・ネスト | (有) 宝井プロジェクト | (株) 劇団民塾 |
| (株) エム・アール | (有) 田上事務所 | 劇団ムーンライト企画 |
| (有) エムカンパニー | (有) 竹内事務所 | 矢島聰子事務所 |
| (有) プロダクション エムスリー | (有) プロダクション タンク | (有) 山田栖峰子事務所 |
| (株) 円企画 | (株) テアトル・エコー | (有) 山本事務所 |
| (株) 大沢事務所 | D.R.A (株)放送表現教育センター付属プロ) | (株) ゆーりんプロ |
| (有) 大平プロダクション | (有) ティー・イー・ビー | (株) ヨコザワ・プロダクション |
| 落合事務所 | (株) オフィス・テン | 吉村事務所 |
| 劇団 權 | 専門学校・東京アナウンス学院 | 代々木アニメーション学院 |
| (有) オフィス 薫 | 東京俳優生活協同組合 | (有) オフィス リン |
| (有) 活動屋 | (株) 劇団東俳 | (株) ロビンフッド・アーチスト |
| (有) 希楽星 | (株) 同人舎プロダクション | (株) 劇団若草 |
| (有) キリンプロ | (株) オフィス・トクヒロ | (有) ワンダー・プロダクション |

賛助会員一覧

(2001年1月現在)

<法人> (株)NHKエンタープライズ21
(株)オセロット
紀伊國屋ホール
(株)C. A. L
松 竹(株)
松竹京都映画(株)

全国朝日放送(株)
タイトル・プロデュース(株)
(株)テレビ東京
(株)東京映画新社
(株)東京演劇音響研究所
(株)東京放送

(社)日本劇団協議会
日本テレビ放送網(株)
(株)俳優座劇場
(株)フジテレビジョン

<個人> 戊井 市郎 鶴山 仁 岡本富士太 加藤 武 角野 卓造
北村 和夫 坂口 芳貞 鈴木 光枝 平 淑恵 仲谷 昇
西川 信廣 渡辺 徹

■〔賛助会員〕加入のお願い

当、日本芸能マネージメント事業者協会では、法人・個人を問わず、当協会の事業を援助して下さる「賛助会員」を募集しております。

- 入会は、随時受付、年間を通していつでも入会申し込みを承ります。
- 会費は <法人>1口 30,000円 <個人>1口 10,000円 会員資格は入会から一年間です。
- 会員特典は機関誌「マネ協」等の贈呈、協会の各種イベントの参加入場等々です。

新世紀 新年会 2001

21世紀協会事業のスタートを切る新年会が1月19日港区赤坂の『ペンディオロソ』にて開催されました。

ご来賓の8社・団体の各氏NHKエンタープライズ21、TBS、フジTV、テレビ東京、音声連、日俳連、CPRA（クプラ）、タイトル・プロデュースを始め、加盟41社109名の出席者が一堂に会し新世紀の出発を祝いました。梅田理事長の開催の挨拶の後は会食・歓談。恒例の三本締を監事の中里氏、傘下各社より持ち寄られた景品は豪華にも参加者全員分。この一年の健闘を互いに誓いつつ散会しました。

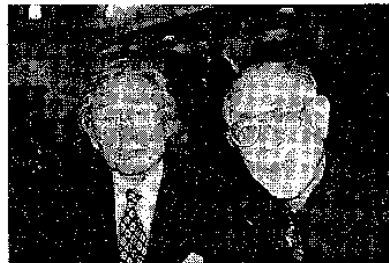
写真・兵頭一夫（青ニプロ） 影山真（アイムエンタープライズ）
取材・脇坂直子（編集部/オフィスCHK）



より良い事業、より良いマネージメントを祈って乾杯（山崎副理事長）



厳しい新世紀のスタートですが、せめて我々の努力でこの業界だけでも景気が良くなるように互いに頑張りましょう（梅田理事長）



加藤元事務局長の元氣な笑顔（右）岩淵理事（左）

new face





先輩のみな様に教えて頂きながらがんばります。新規加入の【声の劇団イマージュ光明寺敬子さん（上）】【元氣プロジェクト井上和彦代表（右）岡本邦裕さん（下）】

司会の三橋みき子さん（青年座）



乾杯の唱和で盛り上がる会場



地に足をつけた仕事が我々の信用となつて行きますと懇会の言葉は喜田副理事長。



マネ協を力強く発展させるために一社でも多く加盟を募りましょうと景気の良い三本締は中里監事

※支払い遅延会社リスト作成に御協力をお願いします（担当理事・亀井）

あけましておめでとうございます。

今年も倒産やら暗いニュースが流れて、日本経済、景気の後退、不況が続いております。

こうしたなかで、制作会社も大変厳しい状況に直面しており、支払いが遅れたり、倒産する会社も出ております。

会員の方から支払い遅延会社のリストを作ってほしいとの要望がありました。前回マネ協で作成した内部資料のブラック会社リストが役にたったとの事でした。そこで、支払い遅延会社リストを作成したいので御協力をお願いします。

未収をなくすためには、会社のなかに未収担当をおき、取引先の支払いサイクルを知り、支払いが遅れたら、マネージャーが取引先に行くことでかなり解決できます。

仕事をして、俳優に出演料を支払って初めて仕事の完了です。

マネ協では、情報交換できるようにしておりますので、事務局にお話下さい。

現在、映画「宣戦布告」の未収問題が起っております。製作した映画投資組合が崩壊しており、関係会員と協力して解決の方向を模索しているところです。

JMA MOVEMENT REPORT

JAPAN MANAGERS ASSOCIATION

<2000年8月>

21日 日俳連よりフリー俳優についての相談 (マネ協にて)
25日 //

<2000年9月>

6日 常務会・第111回定例理事会 (マネ協にて)
29日 外画動画実務小委員会 (音声連にて)

<2000年10月>

4日 三団体 [マネ協・劇団協・日俳連] 会議 (日俳連にて)
11日 常務会・第112回定例理事会 (テアトル・エコーにて)
17日 外画動画部会 (俳協にて)
31日 出演条件交渉についてNHKへ申し入れ (NHKにて)

<2000年11月>

6日 TBSよりドラマランク交渉に関する報告 (マネ協にて)
10日 外画動画、新人登録の提出
15日 常務会・第113回定例理事会 (マネ協にて)
17日 テレビ朝日よりランク申請手続きに関する説明 (マネ協にて)
22日 第二回マネ協・研修旅行 (鬼怒川温泉にて)

<2000年12月>

23日 //
24日 CX・三団体会議 (CXにて)
28日 外画動画実務小委員会 (音声連にて)
2000年12月
12日 常務会・第114回定例理事会 (テアトル・エコーにて)
15日 外画動画ランク申請、音声連へ提出
21日 外画動画実務小委員会 (音声連にて)
28日 事務局、大掃除
29日~1月8日 冬季休業

<2001年1月>

10日 実演権利者機構、発足準備会議 (日俳連にて)
19日 常務会・第115回定例理事会 (赤坂ペンディオロッソにて)
// 新年会 (赤坂ペンディオロッソにて)
25日 外画動画実務小委員会 (音声連にて)

【会員名簿の訂正と変更】

(株)アーツビジョン

移転⇒〒151-0053渋谷区代々木1-14-3 松田ビル3F (Tel・Fax同じ)

(有)アイムエンタープライズ

移転⇒〒151-0053渋谷区代々木1-14-3 松田ビル2F (Tel・Fax同じ)

(株)エービー企画

代表者が「阿部征海」氏になります。(「阿部征男」氏の逝去により)

(有)元氣プロジェクト

代表者が「井上和彦」氏になります。

(有)冨羽商事

社名変更⇒(株)コアミックス 代表:堀江信彦 会員代表:神谷明
〒180-0003武蔵野市吉祥寺南町2-6-10富士パームビル3F
TEL0422-40-1275 FAX0422-40-1052

(株)CSRコーポレーション

代表者は「西牟田俊介」氏です。

東京アニメーション(株)

社名変更⇒プロミックス・アーティスト・カンパニー [(株)プロミックス]
会員代表者が「諸岡秀康」氏になります。TEL03-3462-0475

(株)オフィス・トクヒロ

会員代表者が「田村直子」氏になります。

■訂正・会報8号6ページ「原稿料率」は「現行料率」の間違いです。

マネ協新加入事業者の紹介

(有)希楽星

■〒151-0071渋谷区本町
1-4-15 田中ビル404

TEL 03-5358-0631
FAX 03-5358-0632



代表者
足立 雅昭



会員代表
佐藤 旭

(有)ジェイ.クリップ[リベルタ]

■〒162-0065新宿区住吉町
2-10 ソフィアM-9F

TEL 03-3352-1616
FAX 03-3352-1331



代表者
上谷 忠



会員代表
井上 陽子

(有)楡プロダクションA組

■〒160-0007新宿区荒木町
22 サクラガーデン502

TEL 03-5379-8820
FAX 03-5379-8821



代表者
小松 宗雄

会員代表
須貝 誓子

(株)放映新社

■〒169-0075新宿区高田馬場
1-33-14 サンフラワービル6F

TEL 03-3208-3361
FAX 03-3208-9594



代表者
中嶋 昭



会員代表
上田 侑嗣

<退会事業者>

大島圭子オフィス
(有)ネットワーク・アイ

(株)時代村劇団
(有)二谷事務所



新世紀のマネージメント方法などと言うものがあるのかどうかは知りませんがメディアそのものが急激に変遷し進化していく事は間違いないでしょう。やがてBSデジタルが地上波に変わって基幹メディアになるであろう事はその利便性などから見て疑う余地がありません。現在は膨大な費用がかかるためコンテンツ不足なだけで編集、加工、放送、保存、転用、双方向性、とアナログに比して圧倒的優位に有ります。まさに一つのソフトを多面的に活用しようとする製作サイド・放送業界の「ワンソフト・マルチユース」と言うお題目にぴったりなシステムなのです。

従来の地上波があり、数百チャンネル可能なCS放送があり、WOWOWがあり、CATVがあり、そしてBSデジタルがスタートしました。視聴者は一日が30時間ほど無いと見逃してしまうでしょう。当然チャンネルの数だけソフト・コンテンツが必要になります。そのクオリティや実演家供給のあり方についてマネ協は真剣に考えるべき時がきました。

編集部 松田咲實

編集スタッフ連名

豊田 紀雄 岩淵佐津夫 小路 哲 脇坂 直子
佐藤 達郎 内海賢太郎 松田 咲實 伊藤 信

E-mail manekyo@nifty.com

文学座附属演劇研究所 第41期生募集

■入所試験 第一次 3月4日
第二次 3月6日・7日

願書受付期間 2月10日より2月26日迄

お問い合わせは 〒160-0016 東京都新宿区信濃町10
文学座附属演劇研究所 TEL.03-3351-7265

円 演劇研究所 2001年度研究生募集

■第1次募集 (3月7日 締め切り)
1次試験 3月9日 2次試験 3月12日
■第2次募集 (3月21日 締め切り)
1次試験 3月23日 2次試験 3月26日

★熱意あふれる若者の応募を待っています!

〒169-0074新宿区北新宿2-1-16松本ビル1号館
TEL.03-3366-2576